

## 4. 海事産業の振興策等

### 4.1 内航海運・造船振興策

フィリピン政府は従前より内航海運の振興<sup>18</sup>に取り組んでおり、日本も 2 ステップローンの融資をフィリピン開発銀行（Development Bank of the Philippines : DBP）を通じて提供<sup>19</sup>し、内航海運の近代化に協力をしてきた。日本の支援による融資は 2016 年で終了しているが、フィリピン政府が導入した内航海運振興策は継続しているものも多い。現状の内航海運、造船振興策は以下のとおりである。

#### (1) 付加価値税の免除

2005 年共和国法 9337 号（Republic Act : RA9337）により、旅客船、貨物船、エンジン等の機器、部品の輸入とリースに対する付加価値税 12%の免除。なお、12%の付加価値税免除の対象となるためには、MARINA の通達に基づき次の条件を満たす必要がある。

- ・ MARINA に認可を受けた内航海運事業者であること
- ・ 旅客船の場合は IACS 船級を取得し、500 トン以上、輸入時に船齢 20 年以下であること
- ・ タンカーの場合は、輸入時に船齢 15 年以下であること
- ・ 高速旅客船の場合は、輸入時に船齢 5 年以下であること
- ・ 貨物船の場合は MARINA の通達 104 号に従うこと<sup>20</sup>

なお、付加価値税の免除は 2004 年の共和国法 9295 号(RA9295)にも盛り込まれている。RA9295 では、内航海運オペレーター及び造船所に対して、次のインセンティブを認めていた。

- ・ 付加価値税（VAT）の免除
- ・ 純営業損失の 3 年間の繰り越し
- ・ 固定資産の加速償却（最大 2 倍まで加速償却が可能）

RA9295 は 10 年間の期限付き法律で、2014 年に失効しているとみられる。

RA9337 による付加価値税免除には造船所は含まれていない。

#### (2) 税制優遇策

投資庁(Board of Investments : BOI)の優遇策では様々な産業や未発達地域への投資促進のためのインセンティブを提供している。次の船舶の運航については、6 年間の所得税免除が与えられる。

<sup>18</sup> 1995 年からの内航海運近代化プログラム(DSMP I)と 1999 年からの第 2 期内航海運近代化プログラム

<sup>19</sup> 物流インフラ開発事業。2009 年に調印、303 億 8,000 万円を限度とする円借款貸付契約で期限は 2016 年。融資対象は船舶だけでなくインフラ全般。  
[https://www.jica.go.jp/press/2009/20091112\\_01.html](https://www.jica.go.jp/press/2009/20091112_01.html)

<sup>20</sup> MARINA 通達 104 号は 1995 年に発表された「内航船及び漁船の調達に関するガイドライン」で、貨物船については船齢の制限がないこと、国際的な船級協会あるいは地場の船級協会の船級を取得することなどが定められている。

- ・タンカー、高速船、RoRo 船で主要ルートを運航している船と、150GT 以上の旅客・貨物船の運航
- ・小さな島や島嶼間で、MARINA が求めるミッシヨナリー航路の運航
- ・国際運航の場合は、フィリピン籍船で 1,000GT 以上の船舶の運航

### (3) 航路開発促進のための航路保護

RA9295 及び MARINA 通達 2009 年 23 号により、新航路開発の促進のため、定期船が運航していない航路（ミッシヨナリー航路）で新規航路を開設する内航オペレーターに対して、5 年間、他社の新規参入を認めないという航路保護スキームがある。また、船舶関連書類、ライセンス、認可などの費用を 50% 減免するインセンティブがある。

### (4) 新造船への投資促進

2010 年の大統領令 909 号（Executive Order : EO909）および MARINA 通達 2015 年 4 号により、MARINA が運航船舶の追加が必要と認める航路に、IACS 船級を取得した新船（新船輸入あるいは国内での新造いずれでもよい）を投入する場合、「パイオニアステータス」が与えられ、以下のインセンティブが与えられる。

- ・6 年間、他社の新規参入を当該航路に認めないという航路保護
- ・公共利便性証明(Certificate of Public Convenience : CPC)<sup>21</sup>の優先発行
- ・船舶関連書類、ライセンス、認可などの費用の 50% 減免
- ・港湾では専用バース、専用ランプの提供を受けることが可能

### (5) 木船、老朽化船の退役

内航海運の安全性の向上が主な目的であるが、木船、老朽化船が退役により内航船運航の過当競争を緩和し、内航海運振興に寄与するものと考えられている。2016 年に MARINA は、以下のとおり木船の段階的な退役を定めている。

表 37 木船退役スケジュール

船の大きさ	退役時期
100GT 以上	2019 年 1 月 1 日から
15.00～99.88GT	2018 年 7 月 1 日から
15.00GT 以下	2018 年 1 月 1 日から

出典：MARINA

しかし、報道や業界へのインタビューによると、MARINA のスケジュールのとおりに退役が進んではいないようである。木船の船主に対する補償、新船の買

<sup>21</sup> 公共機関以外が公益サービスを提供する場合に取得が義務付けられている

い替えの補助などがいないため、現状のままでは木船の退役は困難とみる業界関係者も多い。

高齢化船の退役についても検討がなされ、2009年のRA9295施行細則において、30年以上の鉄鋼船、20年以上の木船、5年以上のモーターバンクで船級を取得していないものは、船級協会の検査結果を提出が義務付けられた。提出がない場合は自動的に登録が抹消されるというものである。2016年の報道によると、MARINAの高官が35年以上の船の強制的な退役を示唆する発言があったが、船主の強い反発もあるようであり、この方針に従って退役を義務化する法律が制定されるかどうかは不透明である。

#### 4.2 海事産業開発計画（Maritime Industry Development Plan:MIDP）

アロヨ政権に代わって2010年に発足したアキノ政権は、RORO航路開発を踏襲せず、内航振興は一時停滞した。2016年6月に発足したドゥテルテ政権では、「Build, Build, Build」のスローガンの下、大規模なインフラ整備計画を推進しており、その一環として交易と観光開発に重要な港湾開発など、内航海上輸送を含む海事産業の振興にも再注力している。

こうした中、海事産業を管轄するMARINAでは、2018年12月に2019～2028年の海事産業開発計画（MIDP）を発表している。MIDPは、海事教育、イノベーション、技術、持続可能な組織文化と実践を開発・持続することにより、1つの国として融合し、国際競争力のある海事産業とすることをゴールに掲げ、2019-2028年の10年間で次の点を達成することを目標としている。

- ・世界および国内の海運、漁業、海洋観光分野の進展に合わせて、造船・船舶修繕の生産能力を高める。
- ・海事技術を高めることでサプライチェーンのローカル化を支援する。
- ・海運業と海洋観光業を開発・拡充するための支援を行っていく。
- ・海事教育トレーニングを船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約（STCW条約）に合わせて常に改善する。
- ・海事関連の安全・安全保障のベストプラクティスを開発・導入・支援する。
- ・MIDPの導入のために、組織間および多組織間の協業、及び一般市民の参加を強化する。

ドゥテルテ政権下、2016年10月に、国民一人あたりの所得を2040年までに3倍にすることを目指すことなどを盛り込んだ長期ビジョン「AmBisyonNatin 2040（Our Ambition 2040）」が発表されており、2017年には「AmBisyonNatin」の達成のための中期開発計画である「フィリピン開発計画 2017-2022」が策定されている。その開発計画の一翼をなす「フィリピン運輸計画 2017-2022」、クルーズ産業を振興する「国家クルーズ観光開発戦略と行動計画 2016-2022年」、漁業の振興と近代化を図るための「包括的国家漁業開発計画 2016-2022年」も策定されているが、MIDPはこれらの計画の海事に関わる部分の達成に寄与することが期待されている。図23はMIDPと各種計画の関連図である。

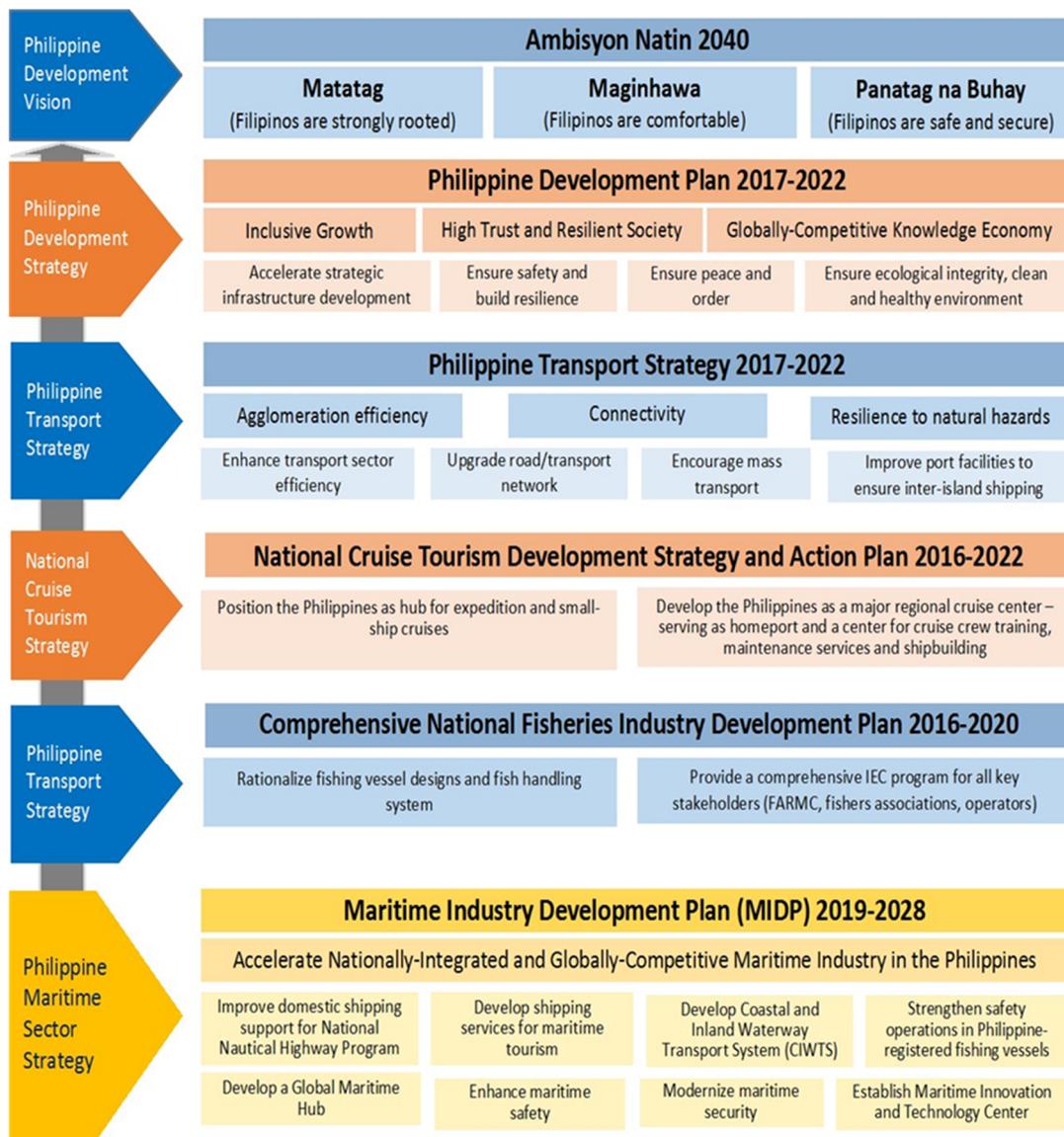


図 23 MIDP をその他の国家計画との関連図

出典：MIDP 2019-2028

MIDP では 8 つの優先プログラムが選定されている。8 つの優先プログラムとそれぞれの 10 年間の予算は表 38 のとおりである。

表 38 MIDP 優先プログラムと予算

	優先プログラム	10年間の予算 (100万ペソ)	予算全体に 占める割合
1	フィリピン海上輸送航路の開発のための内航海運の改善	45,155	18.6%
2	海洋観光向けの海運サービスの開発	147,400	60.6%
3	沿岸内陸水上輸送 (CIWT) <sup>22</sup> システムの開発	2,640	1.1%
4	漁船の安全基準強化	748	0.3%
5	グローバル・マリタイム・ハブの開発	45,730	18.8%
6	フィリピンの海上安全の強化	149	0.1%
7	フィリピンの海上警備の近代化	825	0.3%
8	海事イノベーション&ナレッジセンター(MIKC <sup>23</sup> )の設立	599	0.2%
	合計予算	243,246	

出典；MIDP より作成

表 38 のとおり、MIDP に関する予算の 6 割が海洋観光向けの海運サービスの開発、具体的にはクルーズ観光振興に充てられることになっている。前述のとおり、クルーズ産業を振興する「国家クルーズ観光開発戦略と行動計画 2016～2022 年」が MIDP に先立ち策定されており、フィリピン政府がクルーズに力を入れていることがわかる。また、内航海運の改善には 451 億 5,500 万ペソ（およそ 948 億円）が充てられる。造船産業の振興はプログラム 5 のグローバル・マリタイム・ハブの開発に含まれている。

8 つの優先プログラムの概要は以下の通りである。

プログラム 1	フィリピン海上輸送航路の開発のための内航海運の改善
効果 (Impact)	より効率的で安全な旅客、貨物の輸送 具体的には ・ 輸送コストと時間の短縮 ・ 海難事故の減少 ・ 旅客満足度の向上
結果 (Outcome)	・ 旅客、貨物、船舶寄港の増加 ・ 新規航路の開発 ・ 海運と造船への投資を増加
要素 (Components)	・ 内航船の近代化と改良 ・ 甲板およびエンジンを担当する船員の能力開発 ・ 港・ターミナル及び道路の改良 ・ 木造船の段階的廃止 ・ 船級を取得していないので船、老朽化した船の退役
予算	10年間で 451 億 5,500 万ペソ

<sup>22</sup> Coastal and Inland Waterways Transport の略。沿岸あるいは河川、湖などの内陸水路を利用した交通

<sup>23</sup> Maritime Innovation and Knowledge Center

プログラム 2	海洋観光向けの海運サービスの開発
効果(Impact)	海洋観光からの収益の向上と観光船とレジャーボートの無事故
結果(Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光デスティネーションに運航する船舶数の増加と船舶の改良</li> <li>・フィリピン籍の観光船とレジャーボートの増加</li> <li>・観光船やレジャーボートを建造する造船所による雇用拡大</li> <li>・外国籍クルーズ船によるフィリピン人船員の雇用拡大</li> <li>・外国籍クルーズ船で働くフィリピン人船員からの送金増加</li> </ul>
要素(Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋観光委員会の創設</li> <li>・クルーズ船、ボート、レジャー艇の建造と運航のための設計と安全基準</li> <li>・海洋ツーリズムへの投資の支援</li> <li>・クルーズ船造船所の人材とクルーズ船乗組員の能力開発</li> <li>・海外の旅行業界やクルーズ業界におけるフィリピン海洋ツーリズムの振興</li> <li>・プログラムマネージメントとモニタリング及び評価</li> </ul>
予算	10年間で1,474億ペソ

プログラム 3	沿岸内陸輸送 (CIWT) システムの開発
効果(Impact)	効率的で安全、環境の面で持続可能な沿岸内陸輸送システム 具体的には <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送時間とコストの削減</li> <li>・旅客満足度の向上</li> </ul>
結果(Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿岸内陸輸送によるとモノの移動の増加</li> <li>・沿岸内陸輸送向けのボートと設備運営への投資の創出</li> </ul>
要素(Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水路の開発と維持</li> <li>・港・上陸場・ターミナルの建設と運営維持</li> <li>・ボート建造と運営維持</li> <li>・CIWT 情報システムの構築と運営</li> <li>・CIWT 用ボート、システムデザインと安全基準に関する能力開発</li> <li>・情報・教育・コミュニケーションの計画の策定と導入</li> <li>・プログラムマネージメントと維持・評価のサポート</li> </ul>
予算	10年間で26.4億ペソ

プログラム 4	漁船の安全基準強化
効果(Impact)	洋上および船上における生命の安全、漁船船員の福利厚生、IUU（違法、無報告、無規制）漁業の防止に関する IMO や ILO 条約の実行による高効率で安全な漁船運航
結果(Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IUU 漁業の減少</li> <li>・漁船安全証明登録済みの漁船の増加</li> </ul>
要素(Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケープタウン協定（漁船の安全基準改善のための条約）と漁船の乗組員のための STCW-F<sup>24</sup>を含む、漁船の安全基準の策定・導入</li> <li>・漁船の安全運航に関するトレーナー、オペレーター、船員の能力開発プログラムの策定・導入</li> <li>・漁船の安全な設計の策定と促進</li> <li>・使いやすい漁業安全ガイドの作成と配布</li> <li>・漁船データベースと漁船クルーのデータベースの構築</li> <li>・プログラムマネージメント支援</li> </ul>
予算	10年間で7,480万ペソ

<sup>24</sup> International Convention on Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Fishing Vessel Personnel, 1995

プログラム 5	グローバル・マリタイム・ハブの開発
効果(Impact)	海事産業の GDP 貢献度を高める
概要	サブ・プログラム 1~5 によるフィリピンのグローバル・マリタイム・ハブ化
サブプログラム 1	フィリピンの船舶登録の促進
結果 (Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピン籍外航船の増加</li> <li>・税収の増加</li> <li>・フィリピン人船員の雇用拡大</li> </ul>
要素 (Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域および国際協力の強化によるフィリピン籍船の競争力向上の支援</li> <li>・輸出入輸送の海上輸送サービスの強化</li> <li>・船舶所有と運航に対する船舶金融スキームとインセンティブの開発と促進</li> <li>・裸傭船と船舶抵当法のレビューと改善</li> <li>・船舶管理、船舶ブローカー、船具商、船舶保険サービスの強化</li> <li>・国際海事条約の批准・実施と MARINA の組織改革による海事行政の強化</li> </ul>
サブプログラム 2	フィリピンを東南アジアの積み替え、燃料補給ハブとする
結果 (Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国船の寄港の増加</li> <li>・海事産業の生産性の向上</li> <li>・雇用機会の拡大</li> </ul>
要素 (Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料補給ターミナルのフィージビリティスタディと詳細エンジニアリング設計</li> <li>・燃料補給ターミナル/ステーションの設立</li> <li>・既存の主要港を国際港/ターミナルに改良</li> <li>・海事関連ビジネス・サービスの開発</li> <li>・国内および国際市場で燃料補給設備の売り込み</li> </ul>
サブプログラム 3	世界に通用する競争力のある造船所を開発し、造船修繕解撤の外国需要に対応
結果 (Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2,000GRT 以上の船舶の建造・修繕が可能な造船所の増加。</li> <li>・造船所の拡張や近代化への投資増加</li> <li>・造船所の生産性の向上</li> <li>・雇用の拡大</li> </ul>
要素 (Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インセンティブ、合弁、投資の開発・促進により造船修繕サービスの強化</li> <li>・近代的で安全や環境性能に優れた船舶の設計・建造による競争力強化</li> <li>・船舶退役の法規制・政策の完全な実施と、船舶輸入に関する段階的な規制の導入</li> <li>・フィリピン海軍の近代化の継続</li> <li>・造船所の人材開発</li> <li>・国際市場における造船サービスの売り込み</li> </ul>
サブプログラム 4	海事関連産業サービスを集約する産業団地（エコ・インダストリアル・マリタイムパーク: EIMP）の設立
結果 (Outcome)	投資、生産性、雇用の拡大
要素 (Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ・インダストリアル・マリタイムパークのフィージビリティスタディと詳細なパーク設計</li> <li>・エコ・インダストリアル・マリタイムパークの開発と運営</li> <li>・国内および「海外の造船所、関連産業、技術/法務/物流サービス会社の誘致</li> </ul>
サブプログラム 5	海事トレーニング・リサーチセンター(MRRC)の設立
結果 (Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的最低水準の海事人材の増加</li> <li>・雇用と投資の拡大</li> </ul>
要素 (Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールド・マリタイム教育トレーニング機関のフィージビリティスタディと設計</li> <li>・機関の運営維持に関して入居企業との組織的枠組みの構築、および国内および海外市場からのセンターへの入居誘致</li> </ul>

プログラム 6	フィリピンの海上安全の強化
効果 (Impact)	フィリピン海域を航行する船舶の効率と安全の向上 具体的には ・ 輸送時間の削減 ・ 海難事故の減少 ・ 旅客満足度の向上
結果 (Outcome)	安全基準に準拠したオペレーターと船員の増加 認定された専門的な安全基準検査員と監視官の増加
要素 (Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィリピン籍船の海上安全に関する政策とガイドラインのレビュー、修正、または開発と実施</li> <li>・ 国際安全条約に準拠することをフィリピン籍船に義務付ける国内法の策定・立法化</li> <li>・ 国内地域ごとの標準的な海上安全戦略と行動計画の策定と実施</li> <li>・ 海上安全および海洋環境保護基準に関する国民の意識を高めるための情報教育コミュニケーション計画の準備と実施</li> <li>・ 海上安全および海洋環境保護基準に関するトレーニングモジュール/コースの開発と実施</li> <li>・ 海上安全執行および救難救助計画の策定と実施</li> <li>・ 海上安全と海洋環境保護のためのデータベースとモニタリング・評価システムの確立</li> <li>・ プログラム管理サポート</li> </ul>
予算	10年間で1億4,850万ペソ

プログラム 7	フィリピンの海上警備の近代化
効果(Impact)	海上警備を強化して海事事件を減らす
結果 (Outcome)	犯罪やテロによる海事事件の減少
要素 (Components)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家船舶および港湾施設のセキュリティ (National Ship and Port Facility Security : NSPS) の策定<sup>25</sup></li> <li>・ 政府と民間のステークホルダーに対して NSPS の政策/規制のトレーニングを実施</li> <li>・ 情報教育コミュニケーション計画の策定と実施</li> <li>・ 船舶セキュリティプランおよび港湾施設セキュリティプランの導入/執行</li> <li>・ コンプライアンスの監視を含む「結果に基づくモニタリング評価 (RbME)<sup>26</sup>システム」の開発と運用</li> <li>・ 緊急時対応の仕組みの策定と実施</li> <li>・ データベースとモニタリング評価システムの確立と運用</li> </ul>
予算	10年間で8億2500万ペソ

<sup>25</sup> NSPS により、すべての国内船舶および港湾が、その性質および運用エリアで予想される脅威の評価に基づいて、それぞれのセキュリティプランを作成することが求められている。

<sup>26</sup> Result-based Monitoring and Evaluation

プログラム 8	海事イノベーション&ナレッジセンター(MIKC)の設立
効果 (Impact)	MARINA とパートナー機関のイノベーション力を高め、最新技術を用い、関連分野のベストプラクティスを導入するための能力向上
結果 (Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋分野に関連する政府の Web サイトでのデータ検索数の増加</li> <li>・ データベースの拡張、統合</li> <li>・ MIDP に関連する新しい製品、サービス、およびプロセスを開発・適用</li> <li>・ 地元、地域、国際的なステークホルダーとのパートナーシップを強化</li> </ul>
要素 (Components)	<p>1. 海事産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 啓発活動：コミュニケーションキャンペーン、ソーシャルメディアの強化。定期的な記者会見（TV および Facebook Live 経由）と多くのニュース記事、特集記事や動画を通じた地域および国際メディアパートナーへのアウトリーチ</li> <li>・ 知識の共有と学習活動：州立大学、大学、海事高等教育機関などのステークホルダーとの公開フォーラム。</li> <li>・ 外部の知識パートナーシップ：海上技術革新（特にグリーン船、ドローン船の設計、建造、修理など）およびベストプラクティスなどについて、メディア、学会、船級、組織、および民間セクターとの関係強化。</li> </ul> <p>2. ナレッジ製品と技術ソリューションの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MARINA ナレッジ・インフォメーションテクノロジーセンター（KITC）を設立し、海事業界内の知識を収集、結びつけるための有効な技術（ハードウェアおよびソフトウェア）の展開。</li> <li>・ 内部の知識パートナーシップを構築し、MARINA と船級等の情報に関する統合データベース（開発データベースおよびアプリケーションベースのシステム）の開発</li> <li>・ IMO の世界海運統合情報システム（GISIS）との統合</li> <li>・ ナレッジ製品の開発</li> <li>・ MARINA ライブラリーの設立</li> </ul> <p>3. パートナーのイノベーション能力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MARINA スタッフと関係組織のナレッジ管理、情報管理、コミュニケーション能力の開発</li> <li>・ グローバルな競争力を継続的に達成するための船員向けの能力トレーニング</li> </ul> <p>4. プログラムのモニタリング評価</p>
予算	10 年間で 5 億 9931 万ペソ

MIDP では 8 つのプログラムそれぞれについて、数値目標や必要なアクション、予算の内訳を掲載している。内航海運と造船業に関連が深いプログラム 1 とプログラム 5 について以下に記載する。

プログラム1 フィリピン海上輸送連絡路の開発のための内航海運の改善

目的	指標	基準値		目標
		年	データ	
<b>効果 (Impact)</b>				
安全で質の高い旅客輸送効率的な貨物輸送	内航輸送の効率、安全、質に対する旅客の満足度を2028年までに80%向上	2017	0	旅客満足度80%向上
	平均海上輸送時間を2028年までに20%削減	2017	離島航路の旅客輸送所要時間が平均4時間	同平均3時間
	海難事故を2028年までに80%削減	2017	31件	6件以下
<b>結果 (Outcome)</b>				
新たに就航する航路の数	2028年までに航路数を50%増加	2017	148航路	73件の新航路
拡充する既存の道路、港湾インフラと設備の数	既存の道路、港湾インフラの100%拡張・改善	2017	574ヶ所の既存の港湾	574ヶ所を拡張・改善
近代化・改善する内航船舶の数	2028年までにIACS船級の新船を100%増加	2017	70隻	新たに70隻のIACSクラスの新造船を輸入あるいは現地建造
旅客輸送人数	2028年までに旅客輸送人数を50%増加	2017	72,051,946人	1億800人以上
貨物取扱量	2028年までに貨物取扱量を50%増加	2017	102,533,513トン	1億5,300トン以上
船舶寄港数	2028年までに船舶寄港数を50%増加	2017	内航船寄港数434,380隻	内航船寄港数651,500隻以上
投資件数	投資件数を50%増加	2017	126億ペソ	189億ペソ以上の船隊近代化・刷新投資
<b>成果 (Output)</b>				
甲板・エンジン士官候補生の船上訓練人数	甲板・エンジン士官候補生の船上訓練を50%増加	2017	甲板士官候補生船上訓練数4,980人 エンジン士官候補生船上訓練数3,735人	甲板士官候補生船上訓練数7,470人 エンジン士官候補生船上訓練数5,600人
新たに建設する港湾インフラ・設備の数	新たな港湾インフラ・設備を50%増加	2017	既存港574ヶ所	新たに287港を開発・建設する
モーターバンカ、モーターボート、木船の数の削減	モーターバンカ、モーターボート、木船の数を50%削減	2017	既存の木船3,058隻	1,500隻以上の木船を退役、1,500隻以上の技術的に進んだ船を輸入あるいは建造
老朽化、陳腐化、経済性に劣る船の退役と交換	老朽化、陳腐化、経済性に劣る船を全て退役・交換する	2017	既存の老朽化、陳腐化、経済性に劣る船25隻	25隻全てを退役させ、新船と交換する

主な行動 (Key activities)	
1	可能性のある航路を定める
2	効果的な海上輸送用航路能力測定システムを開発・導入する
3	内航海運企業・オペレーター向けに包括的なファイナンスプログラムを提供する
4	内航海運企業・オペレーター向けにインセンティブ・特典を提供する
5	甲板・エンジン士官候補生の船上訓練・実習を開発し、導入を義務付ける
6	既存の道路の改良と維持、新たな道路の建設
7	既存の港と港湾設備の改良と維持、新たな港と港湾設備の建設
8	地域ごとの航行エリアに合わせた標準船舶設計を開発し、木船と交換する
9	影響を受けるモーターバンカオペレーターにインセンティブを提供する
10	影響を受けるモーターバンカオペレーターにファイナンススキーム・パッケージを提供する
11	船級を取得していない陳腐化した船の退役を義務付ける
12	陳腐化し航行に適さない船の退役スキームを策定する

### プログラム5 グローバル・マリタイム・ハブの開発

目的	指標	基準値		目標
		年	データ	
<b>効果 (Impact)</b>				
フィリピンの海事産業の GDP 貢献度	海事産業の GDP 貢献度を 2028 年までに 100% 高める	2017	7,200 億ペソ	1 兆 4,400 万ペソ
<b>結果 (Outcome)</b>				
海事産業の総収益を増やす	海事産業の総集積を 2028 年までに 50% 増加	2017	800 億ペソ	400 億ペソ増やす
フィリピン籍の商船による輸出入貨物の輸送を増やす	フィリピン籍の商船による輸出入貨物の輸送量を 2028 年までに 50% 増加	2017	1 億 200 トン	5,100 トン増加
	フィリピン籍の商船で輸送される輸出入貨物額 2028 年までに 50% 増加	2017	125 億ペソ	62.5 億ペソ分増加
新たな海事関連裾野産業の企業数と投資額の増加	2028 年までに新たな海事裾野産業企業 500 社を創設	2017	0	500 社
	2028 年までに新たな海事裾野産業への投資を 100 億ペソとする	2017	0	100 億ペソの新規投資
新たな海事産業雇用の創出	新たな海事産業雇用数を 2028 年までに 50% 増加	2017	雇用 60 万件	さらに 30 万件の雇用創出
<b>サブプログラム 1 フィリピンの船舶登録の促進</b>				
<b>結果 (Outcome)</b>				
フィリピン籍の商船隊の収益拡大	フィリピン籍の商船隊の収益を 2028 年までに 50% 拡大	2017	6000 万ペソ	3000 万ペソ拡大
新たな海事裾野産業企業の増加	海事裾野産業企業数を 20% 拡大	2017	487 社	新たに 97 社設立
	海事裾野産業による投資額を 20% 拡大	2017	2 億 4400 万ペソ	4,900 万ペソの追加投資
新たな雇用創造	海事産業による新規雇用数を 2028 年までに 50% 拡大	2017	陸上および海上合わせて 2,000 件	1,000 件の雇用追加

成果 (Output)				
フィリピン籍商船隊の隻数と総トン数の増加	フィリピン籍商船隊の隻数を2028年までに100%増加	2017	外航船 116 隻	外航船 232 隻とする
	フィリピン籍商船隊の総トン数を2028年までに100%増加		235 万 GRT	総トン数を10% <sup>27</sup> 増とする。
フィリピン籍船の競争力を高めるための二国間合意の強化	政府は5件の新規合意を締結する	2017	53件の署名済み合意	新たに2件 <sup>28</sup> に署名
船舶ファイナンス、インセンティブ、抵当権を含む船舶登録法案を策定	およそ50%の船主、船会社に、2028年までにファイナンス支援を利用してもらう。	2017	61社	30社がファイナンス支援やインセンティブを利用する
	法案を作成する			
サブプログラム2 フィリピンを東南アジアの積み替え、燃料補給ハブとする				
結果 (Outcome)				
マリタイム・ハブのビジネスの収益を創造	2028年までにマリタイム・ハブの収益を生み出す	2017	0	総収益 50 億ペソ
マリタイム・ハブに新たな海事裾野産業企業が進出	2028年までにマリタイム・ハブに立地する裾野産業企業の数	2017	0	100社の立地
	マリタイム・ハブに立地する裾野産業企業の投資額		0	総収益 500 億ペソ
マリタイム・ハブで新規雇用創出	3,000件の新規雇用を創出する	2017	0	3,000件の新規雇用
成果 (Output)				
フィリピンに寄港する外国船の増加	2028年までにフィリピンに寄港する外国船の隻数を10%増加	2017	寄港船舶数 10,000 隻	寄港船舶数 11,000 隻
燃料補給ターミナル/ステーションの設立	2028年までに新たに燃料補給ターミナル/ステーションを設立する	2017	0	150haの燃料補給ターミナル/ステーションを設立
既存の港湾を国際港/ターミナルに拡充	2028年までに国際港/ターミナルに拡充される港の数	2017	0	5つの新たな国際港
海事関連ビジネスとサービス <sup>29</sup> を開発	2028年までに設立される海事関連ビジネス・サービスの数	2017	0	5件の新たなビジネス・サービス開発
燃料補給設備を国内および海外で営業	燃料補給設備を国内および海外で紹介するマーケティングイベントの数	2017	0	10件の国際・国内マーケティングイベント

<sup>27</sup> 100%の誤りと思われる。

<sup>28</sup> 5件の誤りと思われる。

<sup>29</sup> 原文は、Maritime-related businesses and services とされており、燃料補給等の海事関係のビジネス及びサービスと考えられる。

サブプログラム 3 世界に通用する競争力のある造船所を開発し、造船修繕解撤の外国需要に対応

結果 (Outcome)

造船修繕企業の収益の増加	2028年までに造船修繕企業の収益を30%増加	2017	924億ペソ	収益を247億ペソ増やす
造船修繕企業の雇用の増加	2028年までに造船修繕企業の雇用に30%増加	2017	25,000人	雇用に7,500人増やす

成果 (Output)

造船所の設備の向上と拡張	2028年までに設備改善・拡張を行う造船所の数が25%増加	2017	244ヶ所	61ヶ所を改善・拡張する
地場の造船所で建造する中型、大型船の数の増加	地場造船所で建造する船を平均500GTから2028年までに3,000GTにする	2017	500GT (平均)	3,000GT (平均)
近代的、安全で環境にやさしい船をフィリピンで設計、建造	2028年までにフィリピンで設計・建造する近代的、安全で環境にやさしい船の数を50%増加	2017	2,140隻	1,070隻を新たに設計・建造
造船修繕プロジェクト実現のため、より大きなビジネス機会の創出が必要となるので、船舶退役、船舶輸入の段階的制限や既存のフィリピン海軍の近代化プログラムに関する法律や政策を策定	MIDPの他のプログラムと共に、これらの法律制定とプログラムを2025年までに実施する	2017	タンカーと旅客船の輸入制限	全ての船種の中古船の輸入制限 (船舶退役政策の実施)
訓練を受けた造船所従業員の増加	2028年までに訓練を受けた造船所従業員数を50%増加	2017	0	要検討
国際市場におけるフィリピンの造船所のプロモーションを実施	2028年までに実施する国際市場でのフィリピン造船所マーケティングツールの数	2017	1件の対日造船修繕ミッション	10件のマーケティングツール

サブプログラム 4 海事関連産業サービスを集約する産業団地 (エコ・インダストリアル・マリタイムパーク-EIMP) の設立

結果 (Outcome)

EIMPの収益を創出	2028年までにEIMPの収益を最低150億ペソ計上する	2017	0	EIMPの収益最低150億ペソ
EIMPにて裾野産業企業設立	100社の新たな裾野作業企業がEIMPに立地	2017	0	100社の新たな裾野作業企業がEIMPに立地
EIMPにて新たな雇用創造	2028年までにEIMPにて5,000件の新たな雇用を創造する	2017	0	2028年までにEIMPにて5,000件の新たな雇用を創造
EIMPへの外国投資創出	2028年までに150億ペソの外国投資をEIMPに呼び込む	2017	0	2028年までに150億ペソの外国投資をEIMPに呼び込む

成果 (Output)				
EIMP の設立、操業	2028 年までに EIMP を設立、操業する	2017	0	1100ha の EIMP をリージョン 3,4,7 <sup>30</sup> で設立する。
EIMP を造船、裾野産業、技術サービス、法律サービス、物流サービスなどの国内外の企業に紹介する	EIMP を紹介するイベントを 2028 年までに 10 件実施する	2017	0	10 件の EIMP 紹介マーケティングイベント
サブプログラム 5 海事トレーニング・リサーチセンター(MTRC)の設立				
結果 (Outcome)				
フィリピンの海事産業人材の雇用機会の拡大	2028 年までに海事産業で働くフィリピン人の数を 33% 増加	2017	60 万人	20 万人の雇用拡大
成果 (Output)				
MTRC の設立、操業	2028 年までに MTRC を設立、操業する	2017	0	15ha の MTRC を設立する
MTRC の収益を創造	2028 年までに 4 億ペソの収益を計上する	2017	0	4 億ペソの MTRC からの収益
フィリピン人海事産業人材の教育とトレーニングの向上	フィリピン人の海事産業人材で修士、博士取得者の数を 2028 年までに 40% 増加	2017	500 人	さらに 200 人が修士、博士を取得
	海事産業の技能認定労働者の数を 2028 年までに 40% 増加	2017	70 万人	さらに 28 万人の技能認定労働者を創出
MTRC のオペレーションと維持のために、入居企業との合意を交わす	2025 年までに入居企業と合意	2017	0	要検討
MTRC を国内外に告知するマーケティングの実施	2028 年までに 10 件のマーケティングイベントを実施	2017	0	10 件のマーケティングイベント

主な行動 (Key activities)	
1	国際協力 (ASEAN、二国間合意) を通じてフィリピン籍船の競争力を高める
2	フィリピンの輸出入貨物を輸送する海運サービスを確実に提供できるようにする。
3	フィリピンの海事行政を強化する (政策の立案・実行、条約批准等)
4	内航船主・海運会社向けにインセンティブを提供する
5	船舶金融制度を開発する
6	裸傭船と船舶担保の法律を見直し、検討し、改善する
7	船舶管理、船舶仲介、船具商ビジネス、船舶保険サービスを強化する
8	燃料供給ターミナル/ステーションを設立する
9	国際コンテナ港/ターミナルを改良する
10	海事裾野産業と物流サービスを発展させる
11	造船修繕サービスの能力と規模を発展させる
12	近代的、安全、環境にやさしいフィリピンの船を建造する
13	船舶研究所を設立する - 曳航水槽と流体管理トンネル水槽 (Cavitation Tunnel Tank) を設立する - 標準船舶設計を開発する
14	近代的な造船所を設立する
15	造船修繕裾野産業を発展させる
16	船舶リサイクル施設を設立/拡張する
17	船舶設計者と関連海事専門家のための修士プログラムを開発する

<sup>30</sup> リージョン 3 はルソン島中部、リージョン 4 はルソン島南部 (バタンガスを含む) とミンドロ島、リージョン 7 はビサヤス地方中部で、ネグロス島、セブ島、ビコル島を含む

## プログラム 1、5 の実施状況

2019 年 11 月、MARINA に対して MIDP のステータスについてヒアリングしたところ、国家経済開発庁（NEDA）は MIDP を原則承認しているものの、投資調整委員会（Investment Coordination Committee）<sup>31</sup>による計画承認はなされていないとのことである。今後の予算獲得や強制力ある制度設計を引き続き検討するのであれば、投資調整委員会の承認が必要と考えられる。

計画自体は 2019 年からであり、一部のプログラムはすでに動き出している。プログラム 1 およびプログラム 5 の実施状況について、MARINA 及び業界関係者へのヒアリング、報道などからわかる範囲で下記のとおりまとめる。

### プログラム 1

#### (1) 航路の拡充

プログラム 1 では 73 の新航路を開発することになっている。MARINA は 2019 年 2 月に 19 航路、2019 年 3 月に 8 航路のミッショナリー航路（立地や経済的生産性の問題から船舶が運行していない航路）の開設を発表し、海運会社に応札を呼び掛けた。ミッショナリー航路の運航権を得た企業は 5 年間の独占権あるいは投資保護、および手続き費用（申請、更新、ライセンスなど）の半額免除を受けることができる。MARINA によると、2019 年の入札で航路運航が認可されたのは表 39 の 11 航路であった。

表 39 2019 年の入札で運航が決まった航路

	航路	オペレーター
1	Lucena, Quezon - Corcuera, Romblon - Odiongan, Romblon - Caticlan, Akalan	Starhorse Shipping Lines Inc
2	Lucena, Quezon, Buyabod, Marinduque	Montenegro Shipping Lines Inc.
3	Lucena, Quezon, Masbate city - Calagayog	Starhorse Shipping Lines Inc
4	Maasin, So. Leyte - Ubay, Bohol	Medallion Shipping Corp
5	Tabuelan, Cebu - Ajuy, Iloilo	Lite Shipping Corp
6	Maya, Daanbantayan, Cebu - Calbayog City	Sunline Shipping Corporation
7	Pio Duran, Albay - Aroroy, Masbate	Montenegro Shipping Lines Inc.
8	San Andres, Quezon - San Pascual, Burias Island, Masbate - Pasacao, Camarines Sur	Starhorse Shipping Lines Inc
9	Aroroy, Masbate - San Pascual, Burias Island - San Andres, Quezon	Kho Shipping Lines
10	Lucena City - Aroroy, Masbate	Starhorse Shipping Lines Inc
11	Roxas, Or. Mindoro - Calatrava - Romblon	Montenegro Shipping Lines Inc.

出典：MARINA からの入手資料

<sup>31</sup> 財務省、NEDA、農業省、貿易産業省、中央銀行の大臣や総裁などから組織される委員会で、主要国家プロジェクトによる財政、国際収支などへの影響を検討する。

## (2) 港湾開発

港湾については、PPA が管轄する 574 の港湾すべてについて拡張・改良を行うことになっている。港湾の拡張、改良は PPA が MIDP の発表以前から実施しており、PPA のアニュアルレポートによると、2016 年から 2018 年まで毎年 100～200 件のプロジェクトを実施している。このうち 2017 年は 40 件を年内に完成させた<sup>32</sup>。また修繕維持については毎年 100～200 件を完了させている。

表 40 PPA の港湾プロジェクト

	単位：案件数		
	2018	2017	2016
国内予算プロジェクト（翌年継続実施分も含む）	162	127	172
ルソン	68	43	54
ビサヤス地方	34	34	63
ミンダナオ	60	50	55
修繕維持（完了）	198	141	157
修繕維持（年末時点で継続中）	108	91	68

出典：PPA アニュアルレポート各年版

報道によれば 2019 年の完成プロジェクトは 11 月までで 22 件だった。その中にはフィリピン最大で最新鋭のカガヤンデオロの旅客ターミナル（2019 年 7 月稼働）が含まれる。

民間企業による港湾開発や改良プロジェクトもあり、PPA は企業からの提案を検討して認可を出している。2019 年 11 月には、International Container Terminal Services Inc (ICTSI) が提出していた 87 億ペソのイロイロ港整備事業を認可した。ICTSI はミンダナオ島のミンダナオ・コンテナ・ターミナル(MCT)の改良も実施中である。Asian Terminal Inc. (ATI) が運営するバタンガス・コンテナターミナルの拡張は 2019 年 4 月に終了した。海運大手の Chelsea Logistics and Infrastructure Holdings Corp. (CLC) はミンダナオ島ダバオのササ港の近代化プロジェクトの提案を提出しており、認可待ちである。

2019 年 10 月に運輸省が発表した政府海事事業概要によると、70 の社会的観光港湾事業が完成し、運輸省と PPA が完成した海事事業は合計 243 となっている<sup>33</sup>。

## (3) 船舶の近代化・改良

MIDP のプログラム 1 では、現在 70 隻の IACS 船級の新造船を、さらに 70 隻増やすことを目標としている。MIDP の発表前から新造船の建造に積極的だった Chelsea Group<sup>34</sup>や Archipelago Philippines Ferries Corp (APFC)

<sup>32</sup> 2016、2018 年の完成件数は発表されていない。

<sup>33</sup> 19 Nov 19, PNA (Philippines News Agency)

<sup>34</sup> Chelsea Logistics and Infrastructure Holdings Corp. (CLC) と傘下の子会社

については、引き続き新造船の調達に積極的である。Chelsea Group では 2020 年に警固屋ドックから 1 隻、福岡造船から 2 隻（組合船舶からの裸備船）、2021 年にもう 1 隻納入予定があり、その他に 3 隻を発注している。APFC の調達先は中国だが、船隊を 30 隻の調達する計画で資金調達済みとのことである。さらに 2030 年までに 30 隻をフィリピンで国内建造して 60 隻体制にすることを目指している。

2028 年までに 70 隻という MIDP の目標は、Chelsea Group と APFC の調達が順調にいけば、それだけでも達成できるかもしれないが、2019 年 11 月に内航オペレーターにインタビューした際の感触では、他の内航オペレーターは新造船の建造には慎重な発言が多かった。新造船への投資を促進するには、過当競争を是正するなどの投資環境を整える必要があるという意見も多い。

#### (4) 木船の退役

MARINA は 2016 年に木船の退役を定め、2019 年 1 月からは 100 トン以上の木船も含め、一部の例外を除いて全ての木船が退役することとしていた。MIDP によると、3,085 隻（旅客船のみ）の木船があるが、もっと多いという報道もある。

フィリピン政府は、木船の退役による影響の大きい地域を特定し、木船の退役を円滑に進めるための銀行等の支援を得るための協議の場を設ける等の取組を進めている。

木船 1 隻を所有・運航し、それを収入の糧としている人も多く、代替船建造の支援や廃業となる場合の職業の斡旋等がなされなければ、木船の強制的退役は社会問題化となり、実現は困難という見方もある。

フィリピン開発銀行（DBP）の「地方と都市を結ぶインターモダルシステム効率性（Connecting Rural Urban Intermodal Systems Efficiently（CRUISE））」の融資が、船舶調達に利用可能だが、この融資を受けるには法人であることが必要であり、個人事業では借りられないなどの課題があるとのことである。

#### (5) 老朽化船の退役

MARINA のデータによると、31 年以上の旅客船は 318 隻、31 年以上の RORO 船は 57 隻（うち 19 隻が 45 年以上）である。MARINA では、老朽化船の退役を長年検討してきているが、2020 年 1 月現在、義務化する規則はまだできていない。

一部事業者は、船が航行に適するかどうかは船齢だけではなく、維持管理の状況等も踏まえるべきであり、適切な維持管理を行ってきた船舶は船齢が高くても十分使えると反論している。2020 年 1 月現在で、老朽化した船舶の退役の義務化がなされるかどうかは不透明な状況である。

## プログラム 5

### (1) フィリピン籍船の促進

フィリピンをマリタイム・ハブにするというプログラム 5 では、外航船のフィリピン籍船化の促進が盛り込まれ、「ファイナンススキーム、インセンティブ、担保法も含むフィリピン船舶登録法案」を策定するとある。2019年2月に、フィリピン下院は、フィリピン船舶登録法案を承認したが<sup>35</sup>、法律になったという情報は2020年1月現在、見当たらない。また、法案には担保についての記載はあるが、ファイナンススキームとインセンティブについては記載されていない。

### (2) 造船工業団地の設立

数年前から MARINA が海事関連産業サービスを集約する産業団地（エコ・インダストリアル・マリタイムパーク）の設立を検討している。これとは別に、PPA が造船所の建設に動きだしている。ルソン島、ビサヤス地方、ミンダナオ島にそれぞれ 1 ヶ所、合計 3 カ所を建設する予定だという。土地の高騰を避けるために具体的な場所は明らかにされていないが、ルソン島の造船所は面積 10 ヘクタールであり、事業化調査は実施済とされている。ルソン島の造船所では、定員 70～100 人、1～2 時間の短距離を航行する旅客船や RORO 船の建造に力を入れるが、レジャーボートも建造する計画とされており、PPA では 2020 年中の起工を目指している。造船所はフィリピン経済区庁（PEZA）か投資庁（BOI）の管轄下に置かれ、民間からの投資が奨励されている。

---

<sup>35</sup> <http://www.congress.gov.ph/press/details.php?pressid=11300>

## 5. 内航海運事業者の抱える課題

### 5.1 調査を行った内航海運事業者の概要

MIDP の作成やその実行を通じた内航海運事業者への支援が実施されているところであるが、RORO 船の船齢は高く、船舶のリプレース等は円滑に進んでいない状況である。そのため、旅客船、貨客船、RORO 船の主要オペレーター、船舶の運航隻数は少ないものの海運事業への投資を積極的に行う Chelsea Group 等と関係の深いオペレーター10社の協力を得て、内航海運事業者の抱える課題や船隊整備に係る動向について調査を実施した。10社の事業等の概要は以下の通りである。また、これら訪問企業の MARINA 登録船舶リストは別添 1 を参照<sup>36</sup>のこと。

#### Asian Marine Transport Corporation (AMTC)

会社概要	貨客船、貨物船を運航し、トラック、トレーラー、貨物取扱機器、コンテナヤード、港湾設備も所有する総合物流企業。																																																			
住所	38 Gorordo Avenue, Cebu, Philippines 6000																																																			
連絡先	+63 32 4127688																																																			
URL	<a href="http://supershuttleroro.com/en/about/">http://supershuttleroro.com/en/about/</a>																																																			
上場/未上場	未上場																																																			
売上/利益	未上場のため非公開 ※2019年10月のインタビューによると貨客船、貨物船に関する事業は赤字とのこと。																																																			
輸送能力	NA																																																			
航路	<p>貨客船</p> <table border="1"> <tr> <td>ハタンガス</td> <td>⇔</td> <td>クラシ、ハナイ島</td> </tr> <tr> <td>ハタンガス</td> <td>⇔</td> <td>カラハン、ミントロ島</td> </tr> <tr> <td>シヤクナ、ホホル島</td> <td>⇔</td> <td>カミギン島</td> </tr> <tr> <td>ハリンコアン、ミンダナオ島</td> <td>⇔</td> <td>ベノニ、カミギン島</td> </tr> <tr> <td>ハクナヤ、セブ島</td> <td>⇔</td> <td>サンタフェ、ハンタヤン島</td> </tr> <tr> <td>ホゴ、セブ島</td> <td>⇔</td> <td>ハロンボン、レイ島</td> </tr> <tr> <td>ダビタン、ミンダナオ島</td> <td>⇔</td> <td>トゥマケッティ、ネグロス島</td> </tr> <tr> <td>ロクス、ミントロ島</td> <td>⇔</td> <td>カテクラシ、ハナイ島</td> </tr> </table> <p>貨物船</p> <table border="1"> <tr> <td>ハタンガス</td> <td>—</td> <td>マスベイト</td> <td>—</td> <td>セブ</td> <td>—</td> <td>カガヤンデオロ</td> </tr> <tr> <td>ハタンガス</td> <td>—</td> <td>マニラ</td> <td>—</td> <td>セブ</td> <td>—</td> <td>ダバオ</td> <td>—</td> <td>ジェネラルサントス</td> </tr> <tr> <td>ハタンガス</td> <td>—</td> <td>マニラ</td> <td>—</td> <td>イロイロ</td> <td>—</td> <td>ハコルト</td> <td>—</td> <td>カガヤンデオロ</td> </tr> </table> <p>※国内輸送以外にも、2017年にダバオからインドネシアのビトゥンを結ぶ航路を就航したが、当該航路は貨物不足で運航を停止している。</p>			ハタンガス	⇔	クラシ、ハナイ島	ハタンガス	⇔	カラハン、ミントロ島	シヤクナ、ホホル島	⇔	カミギン島	ハリンコアン、ミンダナオ島	⇔	ベノニ、カミギン島	ハクナヤ、セブ島	⇔	サンタフェ、ハンタヤン島	ホゴ、セブ島	⇔	ハロンボン、レイ島	ダビタン、ミンダナオ島	⇔	トゥマケッティ、ネグロス島	ロクス、ミントロ島	⇔	カテクラシ、ハナイ島	ハタンガス	—	マスベイト	—	セブ	—	カガヤンデオロ	ハタンガス	—	マニラ	—	セブ	—	ダバオ	—	ジェネラルサントス	ハタンガス	—	マニラ	—	イロイロ	—	ハコルト	—	カガヤンデオロ
ハタンガス	⇔	クラシ、ハナイ島																																																		
ハタンガス	⇔	カラハン、ミントロ島																																																		
シヤクナ、ホホル島	⇔	カミギン島																																																		
ハリンコアン、ミンダナオ島	⇔	ベノニ、カミギン島																																																		
ハクナヤ、セブ島	⇔	サンタフェ、ハンタヤン島																																																		
ホゴ、セブ島	⇔	ハロンボン、レイ島																																																		
ダビタン、ミンダナオ島	⇔	トゥマケッティ、ネグロス島																																																		
ロクス、ミントロ島	⇔	カテクラシ、ハナイ島																																																		
ハタンガス	—	マスベイト	—	セブ	—	カガヤンデオロ																																														
ハタンガス	—	マニラ	—	セブ	—	ダバオ	—	ジェネラルサントス																																												
ハタンガス	—	マニラ	—	イロイロ	—	ハコルト	—	カガヤンデオロ																																												
運航船隊	MARINA のデータによると 47 隻で、総トン数は 14 万 5000 総トン。2 万トン超の貨物船から 100 トン以下の旅客船まで運航する。同社ウェブサイトでは 33 隻が掲載されており、RORO 貨物船 9 隻、RORO 貨客船 2 隻、貨客フェリー 18 隻、高速フェリー 1 隻、タグボート 3 隻となっている。																																																			
その他	同社の Paul Rodriguez 会長は、フィリピン沿岸海運協会 (Philippines Coastwide Shipping Association) の総裁 (President)																																																			

<sup>36</sup> 訪問企業へのヒアリングによる運航船隊と MARINA 登録船舶リストは一致しないケースがある。

### Lite Shipping Corporation

会社概要	<p>1990年創業。現在も最高経営責任者をつとめる Lucio E. Lim 氏が最初の RORO 旅客船を調達し、ボホール島のルーンとセブ島のアルガオを結ぶ航路を就航したのが始まり。Lite Holdings Inc が持株会社として、Lite Shipping、Danilo Lines、Sunline Shipping を束ねる。</p> <p>Lucio E Lim 氏がオーナーである Lirio Shipping が船舶管理を行っている。</p>																																																																
住所	Lite Ferries Corporate Building, Lite Port Center, M. J. Cuenco Avenue, Barangay Tejero, Cebu City, Philippines																																																																
連絡先	(032) 416-6300 / (032) 412-1121																																																																
URL	<a href="http://www.liteferries.com.ph/">http://www.liteferries.com.ph/</a>																																																																
上場/未上場	未上場																																																																
売上/利益	未上場のため非公開																																																																
輸送能力	運航する船舶のうち最大の船は 800 人乗り、40 台トラックが搭載できる。																																																																
航路	<p>セブが拠点だが、セブ島からミンダナオ島まで幅広く 16 航路を運航している。中距離と短距離航路を運航する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">アルガオ、セブ島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">ルーン、ボホール島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">アルガオ、セブ島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">タビギラン、ボホール島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">カガヤンデオロ、ミンダナオ島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">ジャグナ、ボホール島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">セブ</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">カガヤンデオロ、ミンダナオ島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">セブ</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">ラレナ、シキホール島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">セブ</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">オルモック、レイテ島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">セブ</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">プライデル、ミンダナオ島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">セブ</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">タビギラン、ボホール島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">9</td><td style="text-align: center;">セブ</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">トゥビゴン、ボホール島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">ダピタン、ミンダナオ島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">サンボアン、セブ島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">11</td><td style="text-align: center;">ジャグナ、ボホール島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">ナシピット、ミンダナオ島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">12</td><td style="text-align: center;">ラレナ、シキホール島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">プライデル、ミンダナオ島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">13</td><td style="text-align: center;">ラレナ、シキホール島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">タビギラン、ボホール島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">14</td><td style="text-align: center;">オルモック、レイテ島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">オウアノ、マンダウエ島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">15</td><td style="text-align: center;">プライデル、ミンダナオ島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">タビギラン、ボホール島</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">16</td><td style="text-align: center;">サンカルロス、ネグロス島</td><td style="text-align: center;">⇔</td><td style="text-align: center;">トレド、セブ島</td></tr> </table>	1	アルガオ、セブ島	⇔	ルーン、ボホール島	2	アルガオ、セブ島	⇔	タビギラン、ボホール島	3	カガヤンデオロ、ミンダナオ島	⇔	ジャグナ、ボホール島	4	セブ	⇔	カガヤンデオロ、ミンダナオ島	5	セブ	⇔	ラレナ、シキホール島	6	セブ	⇔	オルモック、レイテ島	7	セブ	⇔	プライデル、ミンダナオ島	8	セブ	⇔	タビギラン、ボホール島	9	セブ	⇔	トゥビゴン、ボホール島	10	ダピタン、ミンダナオ島	⇔	サンボアン、セブ島	11	ジャグナ、ボホール島	⇔	ナシピット、ミンダナオ島	12	ラレナ、シキホール島	⇔	プライデル、ミンダナオ島	13	ラレナ、シキホール島	⇔	タビギラン、ボホール島	14	オルモック、レイテ島	⇔	オウアノ、マンダウエ島	15	プライデル、ミンダナオ島	⇔	タビギラン、ボホール島	16	サンカルロス、ネグロス島	⇔	トレド、セブ島
1	アルガオ、セブ島	⇔	ルーン、ボホール島																																																														
2	アルガオ、セブ島	⇔	タビギラン、ボホール島																																																														
3	カガヤンデオロ、ミンダナオ島	⇔	ジャグナ、ボホール島																																																														
4	セブ	⇔	カガヤンデオロ、ミンダナオ島																																																														
5	セブ	⇔	ラレナ、シキホール島																																																														
6	セブ	⇔	オルモック、レイテ島																																																														
7	セブ	⇔	プライデル、ミンダナオ島																																																														
8	セブ	⇔	タビギラン、ボホール島																																																														
9	セブ	⇔	トゥビゴン、ボホール島																																																														
10	ダピタン、ミンダナオ島	⇔	サンボアン、セブ島																																																														
11	ジャグナ、ボホール島	⇔	ナシピット、ミンダナオ島																																																														
12	ラレナ、シキホール島	⇔	プライデル、ミンダナオ島																																																														
13	ラレナ、シキホール島	⇔	タビギラン、ボホール島																																																														
14	オルモック、レイテ島	⇔	オウアノ、マンダウエ島																																																														
15	プライデル、ミンダナオ島	⇔	タビギラン、ボホール島																																																														
16	サンカルロス、ネグロス島	⇔	トレド、セブ島																																																														
運航船隊	<p>MARINA のデータによると、Lite Shipping の運航船舶は 15 隻、Danilo Lines は 11 隻、Sunline Shipping は 9 隻であり、合計 35 隻を運航する（ほとんどの船の名前は Lite で始まっている。）。船種別では、旅客船 27 隻、貨客船 2 隻、RORO 旅客船 4 隻、貨物船 2 隻となっている。</p>																																																																

2GO Group, Inc.

会社概要	<p>1949年創業の物流会社。フィリピン有数の財閥、Aboitiz グループの物流子会社 Aboitiz Transport System Corp. (ATS) だったが、2010年に Aboitiz が競合の Negros Navigation (NENACO) に ATS を売却。NENACO は買収にあたって、中国政府が出資するファンドから出資を得ている。その後 2011年に社名を 2GO Group に変更した。2017年から 2018年にかけての株式交換や合併、買収などを通じて、現在は Chelsea Logistics and Infrastructure Holdings Corp. (CLC) が 2GO グループの株式 28.15% を間接所有している。大手不動産会社の SM Group<sup>37</sup> を持つ SM Investments も 2017年に 2GO グループの親会社の株式 34.15% を買収し、2GO グループを間接所有している。</p> <p>現在は、旅行業 2GO Travel、宅配サービスの 2GO Express、及び物流サービスを手掛ける。RORO 船による旅客海運輸送は旅行業の一貫として実施している。</p>																																																																						
住所	8th Floor Tower 1 Double Dragon Plaza, Macapagal Blvd. corner EDSA Extension, Pasay City 1302, Philippines																																																																						
連絡先	TEL +63-2-8528-7171																																																																						
URL	<a href="http://www.2go.com.ph">http://www.2go.com.ph</a>																																																																						
上場/未上場	フィリピン株式市場上場																																																																						
売上/利益	2017	2018																																																																					
売上	21,551mil PHP (USD 431mil)	21,990 mil PHP (USD 440 mil)																																																																					
純利	▲310	▲1,348																																																																					
輸送能力	NA																																																																						
航路	<p>フィリピン各地の 19 都市と結ぶ 30 の航路を運航している。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>バタンガス、ルソン島</td> <td>⇔</td> <td>カティクラン、パナイ島</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>バタンガス、ルソン島</td> <td>⇔</td> <td>ロンブロン、ロンブロン島</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>バタンガス、ルソン島</td> <td>⇔</td> <td>ロクサス、パナイ島</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>バタンガス、ルソン島</td> <td>⇔</td> <td>カティクラン、パナイ島</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>バタンガス、ルソン島</td> <td>⇔</td> <td>オライオンガン、タララ島</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>カガヤンデオ、ミンダナオ島</td> <td>⇔</td> <td>イロイロ、パナイ島</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>カティクラン、パナイ島</td> <td>⇔</td> <td>オライオンガン、タララ島</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>ブトゥアン、ミンダナオ島</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>カガヤンデオ、ミンダナオ島</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>イリガン、ミンダナオ島</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>オザミズ、ミンダナオ島</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>コロン島</td> <td>⇔</td> <td>フェルトプリンセサ、ハラワン島</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>ディポログ、ミンダナオ島</td> <td>⇔</td> <td>ドゥマゲッティ</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>ディポログ、ミンダナオ島</td> <td>⇔</td> <td>ザンボアンガ</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>ドゥマゲッティ、ネグロス島</td> <td>⇔</td> <td>ザンボアンガ</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>イロイロ、パナイ島</td> <td>⇔</td> <td>バコルト、ネグロス島</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>マニラ</td> <td>⇔</td> <td>バコルト、ネグロス島</td> </tr> </table>			1	バタンガス、ルソン島	⇔	カティクラン、パナイ島	2	バタンガス、ルソン島	⇔	ロンブロン、ロンブロン島	3	バタンガス、ルソン島	⇔	ロクサス、パナイ島	4	バタンガス、ルソン島	⇔	カティクラン、パナイ島	5	バタンガス、ルソン島	⇔	オライオンガン、タララ島	6	カガヤンデオ、ミンダナオ島	⇔	イロイロ、パナイ島	7	カティクラン、パナイ島	⇔	オライオンガン、タララ島	8	セブ	⇔	ブトゥアン、ミンダナオ島	9	セブ	⇔	カガヤンデオ、ミンダナオ島	10	セブ	⇔	イリガン、ミンダナオ島	11	セブ	⇔	オザミズ、ミンダナオ島	12	コロン島	⇔	フェルトプリンセサ、ハラワン島	13	ディポログ、ミンダナオ島	⇔	ドゥマゲッティ	14	ディポログ、ミンダナオ島	⇔	ザンボアンガ	15	ドゥマゲッティ、ネグロス島	⇔	ザンボアンガ	16	イロイロ、パナイ島	⇔	バコルト、ネグロス島	17	マニラ	⇔	バコルト、ネグロス島
1	バタンガス、ルソン島	⇔	カティクラン、パナイ島																																																																				
2	バタンガス、ルソン島	⇔	ロンブロン、ロンブロン島																																																																				
3	バタンガス、ルソン島	⇔	ロクサス、パナイ島																																																																				
4	バタンガス、ルソン島	⇔	カティクラン、パナイ島																																																																				
5	バタンガス、ルソン島	⇔	オライオンガン、タララ島																																																																				
6	カガヤンデオ、ミンダナオ島	⇔	イロイロ、パナイ島																																																																				
7	カティクラン、パナイ島	⇔	オライオンガン、タララ島																																																																				
8	セブ	⇔	ブトゥアン、ミンダナオ島																																																																				
9	セブ	⇔	カガヤンデオ、ミンダナオ島																																																																				
10	セブ	⇔	イリガン、ミンダナオ島																																																																				
11	セブ	⇔	オザミズ、ミンダナオ島																																																																				
12	コロン島	⇔	フェルトプリンセサ、ハラワン島																																																																				
13	ディポログ、ミンダナオ島	⇔	ドゥマゲッティ																																																																				
14	ディポログ、ミンダナオ島	⇔	ザンボアンガ																																																																				
15	ドゥマゲッティ、ネグロス島	⇔	ザンボアンガ																																																																				
16	イロイロ、パナイ島	⇔	バコルト、ネグロス島																																																																				
17	マニラ	⇔	バコルト、ネグロス島																																																																				

<sup>37</sup> SM グループは鉱山会社の Atlas Mining、銀行の BDO Unibank、China Bank、インフラ関連会社、建設会社、大型ショッピングセンターを所有、出資、間接出資するフィリピン有数のコングロマリット。

	18	マニラ	⇔	ブトゥアン
	19	マニラ	⇔	カガヤンデ <sup>o</sup> 、ミンダ <sup>o</sup> ナ島
	20	マニラ	⇔	セブ
	21	マニラ	⇔	コロン島
	22	マニラ	⇔	ディポログ、ミンダ <sup>o</sup> ナ島
	23	マニラ	⇔	トゥマゲ <sup>o</sup> ッティ、ネグ <sup>o</sup> ロス島
	24	マニラ	⇔	イリガン、ミンダ <sup>o</sup> ナ島
	25	マニラ	⇔	イロイロ、パ <sup>o</sup> ナイ島
	26	マニラ	⇔	オザミズ、ミンダ <sup>o</sup> ナ島
	27	マニラ	⇔	フ <sup>o</sup> ルトフ <sup>o</sup> リンセサ、パ <sup>o</sup> ラワン島
	28	マニラ	⇔	ザンホ <sup>o</sup> アソガ <sup>o</sup> 、ミンダ <sup>o</sup> ナ島
	29	オザミズ、ミンダ <sup>o</sup> ナ島	⇔	イリガン、ミンダ <sup>o</sup> ナ島
	30	ロンブロン、ロ <sup>o</sup> フ <sup>o</sup> ロ <sup>o</sup> ン島	⇔	ロクサス、パ <sup>o</sup> ナイ島
運航船隊	<p>CLC の年次報告書によると、2018 年 12 月 31 日時点で、23 隻、用船 4 隻の計 27 隻を運航する。27 隻のうち 8 隻が RoRo 旅客船、8 隻が貨物船で、11 隻が高速船。2019 年 11 月の現地調査では、9 隻の旅客船、3 隻のコンテナ船を運航しているとのことであった。フィリピン国内では最大規模となる 1,900 人の旅客船 1 隻を運航する。</p> <p>CLC には 2GO の他、Starlite、Trans Asia の株式を保有し、これらの会社も RoRo 船を運航するが、2GO の航路はこれらの会社よりも長距離で船舶が大きいという特徴がある。</p>			

### Roble Shipping Inc

会社概要	1985 年設立。セブを拠点に主にレイテ島に旅客、貨物を輸送する。ビジネス全体のうち貨物輸送は 7 割くらいを占める。貨物船の一部はセメント会社への定期用船の形で事業を行っている。			
住所	E.S. Baclig, T. Padilla Extension, North Reclamation Area, Cebu City			
連絡先	TEL +63 (032) 419-1190 to 95 & (032) 260-1921 to 23			
URL	www.robleshipping.com			
上場/未上場	未上場			
売上/利益	未上場のため非公開			
輸送能力	NA			
航路	セブ島からレイテ島およびレイテ島周辺の島 5 カ所に運航している。			
	1	セブ	⇔	ヒロンゴス、レイテ島
	2	セブ	⇔	ベイベイ、レイテ島
	3	セブ	⇔	オルモック、レイテ島
	4	セブ	⇔	カトバロガン、サマール島
	5	セブ	⇔	ネイバル、ビラリン島
運航船隊	<p>MARINA のデータによると所有船舶は 34 隻。</p> <p>2019 年 11 月のインタビュー時の話では、RORO は 8 隻。日本からの中古船が 30 隻ある。</p>			

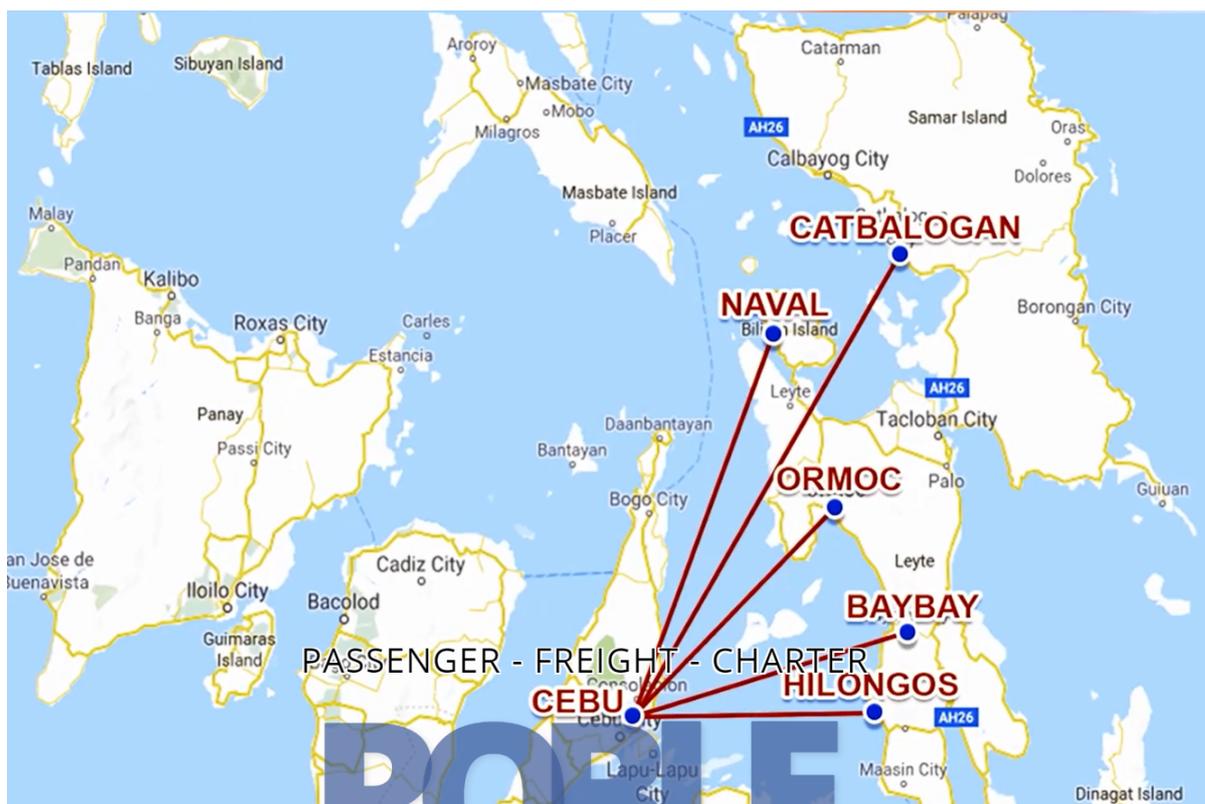


図 24 Roble Shipping の航路地図

出典：Roble Shipping ウェブサイト

#### Starlite Ferries

会社概要	1998 年頃に創業（2019 年 10 月現在のウェブサイトによると 22 年前設立）。バタンガス-カラパン航路で事業を開始している。2017 年に上場海運会社の Chelsea Logistics and Infrastructure Holdings Corp. (CLC) に買収されており、CLC 傘下には複数の海運会社があるが、それぞれ独立して運営している Starlite Ferries は旅客船事業を行う。		
住所	Rizal Avenue Corner P. Dandan St. Batangas City		
連絡先	TEL +63 (043) 723 9965		
URL	<a href="https://www.starliteferries.com/">https://www.starliteferries.com/</a>		
上場/ 未上場	2017 年、上場企業 CLC に買収されたため、上場企業の子会社となっている。		
売上/利益 (CLC)		2017	2018
	売上	3,909 百万ペソ	5,172 百万ペソ
	純利	161 百万ペソ	▲551 百万ペソ
輸送能力	輸送能力：280 Rolling Cargo Capacity 6,683 人 2018 年の実績およそ 200 万人（CLC Annual Report 2018）		
航路	主にバタンガスと周辺の島を中心に 11 航路を運航している。また、2020 年から、コロンからエルニド、イロイロ - バコロドの航路運航を申請中。		

		1	バタンガス、ルソン島	⇔	カティ克蘭、パナイ島
		2	バタンガス、ルソン島	⇔	カラパン、ミンドロ島
		3	バタンガス、ルソン島	⇔	フエルトカレラ、ミンドロ島
		4	バタンガス、ルソン島	⇔	ロクサス、パナイ島
		5	バタンガス、ルソン島	⇔	ジフヤン、ジフヤン島
		6	バタンガス、ルソン島	⇔	アラテ・イロガ、ミンドロ島
		7	バタンガス、ルソン島	⇔	イオンガン、タラス島
		8	カティ克蘭、パナイ島	⇔	ロクサス、パナイ島
		9	セブ	⇔	スリガオ、ミンダナオ島
		10	イオンガン、タラス島	⇔	ロクサス、パナイ島
		11	ジフヤン、ジフヤン島	⇔	ロクサス、パナイ島
運航船隊	MARINA のデータには 15 隻が登録されている。CLC のアニュアルレポートによると 14 隻 (Ropax 12 隻、貨物船 2 隻)。				

### Medallion Transport

会社概要	<p>2012 年に創業。</p> <p>貨物船の取り扱い貨物はセブを積み地とするセメントが多い。RORO 船は旅客の他に米や砂糖などの貨物を輸送する。</p> <p>2016 年頃より、造船所から土地を借りて造船事業も開始している (新造船の建造実績の有無は不明)。海上での修繕(float repair)は自社で実施している。</p> <p>事業多角化のため、巻き網漁船 2 隻への投資、100 トン程度の鉄鋼の母船をフィリピンの造船所を建造するなどの漁業への参入、船員向けの短期トレーニングの提供などの事業も開始している。</p>				
住所	65 Salvador St, Cebu City, 6000 Cebu, Philippines				
連絡先	(032) 416-6300 / (032) 412-1121				
URL	<a href="https://www.medalliontransportinc.com">https://www.medalliontransportinc.com</a>				
上場/未上場	未上場				
売上/利益	未上場のため非公開				
輸送能力	<p>2019 年 11 月のインタビューによると、それぞれの航路に投入している船舶の旅客輸送能力は以下の通り。</p> <p>バト～ウベイ航路 1,320 人</p> <p>セブ～バト航路 576 人</p> <p>セブ～ディポログ航路 1,252 人</p> <p>セブ～スリガオ航路 744 人</p> <p>セブ～パロンポン航路 498 人</p> <p>ディポログ～ドゥマゲッティ航路 不明</p>				
航路	セブ島等を中心に 6 航路を運航している。				
		1	バト、レイテ島	⇔	ウベイ、ボホール島
		2	セブ	⇔	バト、レイテ島
		3	セブ	⇔	ディポログ、ミンダナオ島
		4	セブ	⇔	スリガオ、ミンダナオ島
		5	セブ	⇔	パロンポン、レイテ島
		6	ディポログ、ミンダナオ島	⇔	ドゥマゲッティ、ネグロス島
運航船隊	MARINA の登録データによると、25 隻を運航している。2019 年 11 月のインタビューでは、貨物船 16 隻、RORO 船 22 隻を所有・運航している。				

### Archipelago Philippines Ferries Corporation (APFC)

会社概要	2002年に創業。社長の Mr. Christopher Pastrana と妻の Mary Ann が、2002年に他社の RORO 運航部門を買収して事業を開始。Christopher 氏はフィリピン島嶼間海運協会(The Philippine Inter-island Shipping Association :PISA)の会長でもある。																																								
住所	6th Floor Unioil Center Bldg., Commerce Avenue corner Acacia Avenue, Madrigal Business Park, Ayala Alabang, Muntinlupa City, 1780																																								
連絡先	(632) 8831 5200, (632) 8831 5212, (632) 8842 9341																																								
URL	<a href="https://www.fastcat.com.ph/about-us/#aboutus">https://www.fastcat.com.ph/about-us/#aboutus</a>																																								
上場/未上場	未上場																																								
売上/利益	2021年中に運航隻数を30隻とする予定であり、それにより収益も現在の20億ペソから50億ペソに増加することを見込んでいる。(15 Sep 2019, The Philippine Star)																																								
輸送能力	現在の年間輸送旅客数は300万人。船隊が30隻になれば、年間輸送旅客能力は1,000~1,100万人になることを見込んでいる。																																								
航路	フィリピン各地で10航路を運航している。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 45%;">バナゴ、バコロド、ネグロス島</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">⇔</td> <td style="width: 40%;">イロイロ、パナイ島</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>バタンガス、ルソン島</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td>カラパン、ミンドロ島</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ブレドコ、バコロド、ネグロス島</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td>イロイロ、パナイ島</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ブララカオ、ミンドロ島</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td>カティ克蘭、パナイ島</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>セブ</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td>トゥビゴン、ボホール島</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ダブダブ、サマル島</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td>マトノグ、ルソン島</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ダピタン、ミンダナオ島</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td>デウマゲッティ、ネグロス島</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>リロアン、レイテ島</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td>リバタ、ミンダナオ島</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>マトノグ、ルソン島</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td>サン・イシドロ、サマル島</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>サン・カルロス、ネグロス島</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td>トレド、セブ島</td> </tr> </table>	1	バナゴ、バコロド、ネグロス島	⇔	イロイロ、パナイ島	2	バタンガス、ルソン島	⇔	カラパン、ミンドロ島	3	ブレドコ、バコロド、ネグロス島	⇔	イロイロ、パナイ島	4	ブララカオ、ミンドロ島	⇔	カティ克蘭、パナイ島	5	セブ	⇔	トゥビゴン、ボホール島	6	ダブダブ、サマル島	⇔	マトノグ、ルソン島	7	ダピタン、ミンダナオ島	⇔	デウマゲッティ、ネグロス島	8	リロアン、レイテ島	⇔	リバタ、ミンダナオ島	9	マトノグ、ルソン島	⇔	サン・イシドロ、サマル島	10	サン・カルロス、ネグロス島	⇔	トレド、セブ島
1	バナゴ、バコロド、ネグロス島	⇔	イロイロ、パナイ島																																						
2	バタンガス、ルソン島	⇔	カラパン、ミンドロ島																																						
3	ブレドコ、バコロド、ネグロス島	⇔	イロイロ、パナイ島																																						
4	ブララカオ、ミンドロ島	⇔	カティ克蘭、パナイ島																																						
5	セブ	⇔	トゥビゴン、ボホール島																																						
6	ダブダブ、サマル島	⇔	マトノグ、ルソン島																																						
7	ダピタン、ミンダナオ島	⇔	デウマゲッティ、ネグロス島																																						
8	リロアン、レイテ島	⇔	リバタ、ミンダナオ島																																						
9	マトノグ、ルソン島	⇔	サン・イシドロ、サマル島																																						
10	サン・カルロス、ネグロス島	⇔	トレド、セブ島																																						
運航船隊	MARINA のデータには12隻が登録されているが、2019年に2隻を調達し14隻となっている。																																								
その他	PPA では、内航船舶の近代化を進めるための造船工業団地の造成を行う計画としているが、Mr. Christopher Pastrana は PPA の計画に参画している。																																								

### Trans Asia Shipping Lines

会社概要	1974年に創業。 主にビサヤス地方とミンダナオを結ぶ航路を運航するセブを拠点とする海運会社であるが、2013年に貨物ビジネスの近代化のため土地やコンテナ・バンに投資しており、2016年にはマニラに貨物便運航を開始した。2016年に Chelsea Logistics Holdings Corp. (CLC) に買収された。旅客、貨物ともに扱うが事業規模としては同程度である。貨物輸送については、建設資材、鉄鋼、セメント、飲料、バナナ、野菜などと多彩である。
住所	Trans-Asia Shipping Lines Building M.J. Cuenco Avenue corner Osmeña Boulevard, Cebu City
連絡先	TEL +63 32 254 6491 to 98
URL	<a href="http://www.transasiashipping.com">www.transasiashipping.com</a>

上場/未上場	未上場 上場企業の Chelsea Logistics Holdings Corporation (CLC)の子会社。																																																												
売上/利益	Trans Asia 単独の財務情報は公開されていない。親会社の CLC の売り上げと利益は以下の通り。  <table border="1"> <tr> <td></td> <td>2017</td> <td>2018</td> </tr> <tr> <td>売上</td> <td>3,909 百万 PHP</td> <td>5,172 百万 PHP</td> </tr> <tr> <td>純利</td> <td>161 百万 PHP</td> <td>▲551 百万 PHP</td> </tr> </table>		2017	2018	売上	3,909 百万 PHP	5,172 百万 PHP	純利	161 百万 PHP	▲551 百万 PHP																																																			
	2017	2018																																																											
売上	3,909 百万 PHP	5,172 百万 PHP																																																											
純利	161 百万 PHP	▲551 百万 PHP																																																											
輸送能力	CLC のアニュアルレポートによると、所有船舶の輸送能力は旅客 4,939 人、貨物 2038 TEUs 2018 年の実績は、旅客がおよそ 70 万人、貨物がおよそ 180 万トン。稼働率は旅客が 60%、貨物が 63%である。																																																												
航路	セブ島を中心に、旅客、貨物航路を運航している。2020 年にはバタンガス～セブ間の貨物航路を就航する計画。 旅客 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>カガヤンテ`オロ、ミンダ`ナオ島</td> <td>⇔</td> <td>タク`ビ`ララン、ホ`ホル島</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>カガヤンテ`オロ、ミンダ`ナオ島</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>オザミズ、ミンダ`ナオ島</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>イロイロ、パナイ島</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>イリガン、ミンダ`ナオ島</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>タク`ビ`ララン、ホ`ホル島</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>マスベイト、マス`ベ`イト島</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>イリガン、ミンダ`ナオ島</td> <td>⇔</td> <td>タク`ビ`ララン、ホ`ホル島</td> </tr> </table> 貨物 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>マスベイト、マス`ベ`イト島</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>タクロバン、レイテ島</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>イリガン、ミンダ`ナオ島</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>ザンボアンガ、ミンダ`ナオ島</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>マニラ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>セブ</td> <td>⇔</td> <td>ザンボアンガ、ミンダ`ナオ島</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>イリガン、ミンダ`ナオ島</td> <td>⇔</td> <td>オザミズ、ミンダ`ナオ島</td> </tr> </table>	1	カガヤンテ`オロ、ミンダ`ナオ島	⇔	タク`ビ`ララン、ホ`ホル島	2	セブ	⇔	カガヤンテ`オロ、ミンダ`ナオ島	3	セブ	⇔	オザミズ、ミンダ`ナオ島	4	セブ	⇔	イロイロ、パナイ島	5	セブ	⇔	イリガン、ミンダ`ナオ島	6	セブ	⇔	タク`ビ`ララン、ホ`ホル島	7	セブ	⇔	マスベイト、マス`ベ`イト島	8	イリガン、ミンダ`ナオ島	⇔	タク`ビ`ララン、ホ`ホル島	1	セブ	⇔	マスベイト、マス`ベ`イト島	2	セブ	⇔	タクロバン、レイテ島	3	セブ	⇔	イリガン、ミンダ`ナオ島	4	セブ	⇔	ザンボアンガ、ミンダ`ナオ島	5	セブ	⇔	マニラ	6	セブ	⇔	ザンボアンガ、ミンダ`ナオ島	7	イリガン、ミンダ`ナオ島	⇔	オザミズ、ミンダ`ナオ島
1	カガヤンテ`オロ、ミンダ`ナオ島	⇔	タク`ビ`ララン、ホ`ホル島																																																										
2	セブ	⇔	カガヤンテ`オロ、ミンダ`ナオ島																																																										
3	セブ	⇔	オザミズ、ミンダ`ナオ島																																																										
4	セブ	⇔	イロイロ、パナイ島																																																										
5	セブ	⇔	イリガン、ミンダ`ナオ島																																																										
6	セブ	⇔	タク`ビ`ララン、ホ`ホル島																																																										
7	セブ	⇔	マスベイト、マス`ベ`イト島																																																										
8	イリガン、ミンダ`ナオ島	⇔	タク`ビ`ララン、ホ`ホル島																																																										
1	セブ	⇔	マスベイト、マス`ベ`イト島																																																										
2	セブ	⇔	タクロバン、レイテ島																																																										
3	セブ	⇔	イリガン、ミンダ`ナオ島																																																										
4	セブ	⇔	ザンボアンガ、ミンダ`ナオ島																																																										
5	セブ	⇔	マニラ																																																										
6	セブ	⇔	ザンボアンガ、ミンダ`ナオ島																																																										
7	イリガン、ミンダ`ナオ島	⇔	オザミズ、ミンダ`ナオ島																																																										
運航船隊	MARINA のデータには 2018 年 12 月現在、15 隻が登録されている。																																																												

### Cebu Sea Charters Inc

会社概要	1960 年代に創業。 現在の最高経営責任者の Benson の父親が始めた貨物輸送などの海運会社。 Cebu Sea Charters は、同じオーナーの Broadway Shipping, Seen Sam Shipping, Matsya Shipping, Polsa Shipping の兄弟会社である <sup>38</sup> 。 主として全長 70～95 メートルクラスの LCT <sup>39</sup> により、ルソンからミンダナオまで、重機、鉱山の採掘に必要な資機材、穀物、小麦などを輸送している。
------	---

<sup>38</sup> 同一オーナーの 5 社で 60 隻を運航するが、海難事故発生時等における事業継続リスク等を踏まえ、5 社で 60 隻の船舶を分けて所有している。

<sup>39</sup> Landing Craft、Landing Barge と呼ばれる、岸壁などが整備されていない港において、トラックや重機などの積み込み、積み下ろしを可能とする船舶。主として沿岸輸送やオフショア向けに設備等を輸送する際に使われる。

住所	Seen Sam Bldg., Gov. M. Cuenco Ave. St., Talamban, Cebu City, Philippines
連絡先	TEL : +63-2- 817-0437 / 817-0446 / 551-7688
URL	NA
上場/未上場	未上場
売上/利益	未上場のため非公開
輸送能力	NA
航路	ウェブサイトがなく、旅客の取扱いもないため、公開されていない。 インタビューによると、ルソン島からミンダナオ島間の地域を運航。
運航船隊	2019年11月のインタビューでは、Broadway Shipping, Seen Sam Shipping, Matsya Shipping, Polsa Shipping, Cebu Sea Charters の5社で約60隻を運航している。 2018年12月のMARINAのデータによると5社で100隻が登録されている。

### Lorenzo Shipping Corporation

会社概要	<p>1972年に創業。 貨物を輸送する海運会社として設立され、現在はフィリピンの海運大手 Magsaysay グループ※傘下の企業。 Magsaysay グループは1948年に海運事業から始まった企業であり、1988年に民営化された国有海運会社の National Marine Corporation(NMC)を吸収。Lorenzo Shipping の株式49.5%はNMCが保有しており、Lorenzo Shipping もNMC も貨物輸送に従事している。 Lorenzo Shipping とNMC は2019年から定期用船で協業を開始し、NMC Container Lines が所有船をLorenzo が定期用船し、NMC は船主業の役割分担となりつつある。 なお、親会社の Magsaysay Shipping は、タンカー4隻、バージ6隻を所有しており、バージは石油大手のシェブロンとシェル向けに油等の輸送サービスを提供している。 ※Magsaysay グループについては「1.9章 フィリピンの財閥」を参照。</p>		
住所	20th Floor Times Plaza Building, U.N. Avenue corner Taft Avenue, Ermita, Manila		
連絡先	TEL : +63 28 567.2180		
URL	<a href="https://www.lorenzoshipping.com/">https://www.lorenzoshipping.com/</a>		
上場/未上場	上場		
売上/利益		2018年度	2017年度
	売上	1,971,455千PHP	2,182,060千PHP
	税引き後利益	▲146,113千PHP	▲171,796千PHP
輸送能力	NA		
航路	マニラ、バコルド、イロイロ、セブ、デュマゲッティ、カガヤン・デ・オロ、ザンボアンガ、ダバオ、クタバト、ジェネラル・サントスに寄港する航路を運航。		

運航船隊	<p>ウェブサイトによると、自社所有のコンテナ船 5 隻、ほかにタイムチャーター契約をしている NMC Container Lines, Inc. のコンテナ船 4 隻を運航する。</p> <p>MARINA のデータによると、2018 年 12 月現在、Lorenzo Shipping が貨物船 6 隻、コンテナ船 1 隻を運航しており、NMC Container Lines Inc が貨物船 8 隻を運航している。</p>
------	---

## 5.2 内航海運事業者が抱える課題

内航船海運事業者 10 社に対して、内航事業に関する課題について聴取を行った。以下は内航事業者の発言をまとめたものである。

船舶のリプレースについては、事業航路における新規参入リスクや、旅客についてはバンカボート、貨物については Landing Craft Tank (LCT) など、通常の商船とは投資額や規則の異なる船舶との競合による収益確保の難しさ、などを課題としている事業者が多い。

なお、内航海運事業者の発言を極力そのまま記載しているが、制度への誤解に起因する発言が含まれている可能性があることに留意が必要である。

### 課題 1 過当競争等

- ・現在のフィリピンの海運業界は過当競争に陥っており、上場企業で財務情報が公開されている会社の多くは赤字を計上しており、非上場企業も赤字の状態の企業が多い。
- ・内航海運は参入が容易であり、1 隻の船を買う資金さえあれば参入できる。物流網の拡大が重要と政府に啓蒙されて、海運に知見を持たない業態の企業（例えば低価格住宅のデベロッパー）が参入してくることもあり、安定収益確保の不安材料となる。
- ・他社が運航していないパイオニア航路の運航を始める場合、5 年間の独占が認められるインセンティブがあるが、航路開発に 5 年間は短く、パイオニア航路の軌道に乗った頃に競合企業が参入してくることとなる。現状では航路開発のリスクは大きく、航路開発への投資の更なる保護が必要である。
- ・バンカボートと同じ航路を運航する内航船舶の運賃の差が大きい。バンカボートの運賃は内航船舶の 3 分の 1 程度である。鉄鋼の船には乗組員、消火設備、救命用具などに関する要件が課されるが、バンカボートはそうした要件を満たす必要がなくコストがかからないことなどが、大きな料金差を生む原因の一つである。バンカボートの運航継続を容認するのであれば、ほかの内航船舶と同様に、安全上の要件（乗組員、消火設備、救命用具など）を課すべきである。
- ・フィリピン環境天然資源省は環境破壊や災害の原因になっているとして、2017 年 4 月に全露天掘り鉱山を禁止した。主に鉱山向けに操業していた

多くの Landing Craft Tank (LCT) が仕事を失い、200 隻程度の LCT が余剰となっている。そのため、LCT の船主は LCT にコンテナを乗せて輸送サービスを提供しており、RORO やコンテナ船による貨物輸送運賃が下落する。特にセブからカガヤン・デ・オロ航路（およそ 313 キロ）より長い輸送距離では、RORO 船は LCT に対して価格競争力がない。

- ・競争状況の管理（例えば、新たに運航許可を出す前に、対象航路の市場、競合状況を査定する、市場の大きさに合わせて運航する企業数を決めるなど）が必要である。また、利益が出る航路には新造船を投入させ、そこで使えなくなった船を中規模航路に回すなど、新造船への投資回収ができるようなビジネス環境を整えることが必要である。
- ・空路のアクセスがない短距離、荷物をたくさん安く運びたい人、格安航空であっても運賃の負担が大きいと考えている顧客には内航海運を利用してもらえが、これらの顧客は総じて所得は高くはない。新造船を投入しても、同じ航路を運航する中古船との競合があり、同じ運賃設定しか出来ない。
- ・事業リスクが大きいため、新造船への投資を行うには、日本の独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）が実施している共有建造のようなスキームにより、新造船投資の負担を軽減することが必要である。
- ・かつては銀行送金も不便で、都市の学校に通う学生は毎週のように内航船で自宅に戻っていたが、現在では銀行送金網、インターネットバンキングも発達し、週末自宅に戻る学生は減った。さらに格安航空会社の台頭で、長距離航路で内航旅客船を使う人は減少している。

## 課題 2 中古輸入船舶の船齢制限

- ・船齢 20 年以上、500 トン以下の船舶の輸入を禁止した。人気の高い日本の中古船は、船齢 20 年以下の船を見つけることは難しく、船主の中には欧州から中古船を探すところもあるが同様に難しい状況である。
- ・外国からの新造船の輸入はコストが高すぎる<sup>40</sup>。また、中古船はすぐに航路に投入できるが、新造船では契約から竣工まで 1 年以上待たなければならず、その間も銀行融資の返済があり、新造船の投入は容易ではない。現在は、中古船が見つからないため、コストの低い中国からの新造船の調達を検討する船主が増えている。
- ・「20 年以上であっても日本の中古船の方が中国建造の新船より良い」と考える船主もいるが、20 年以上の中古船が輸入できない。

<sup>40</sup> 新造船 1000 万～2000 万米ドルに対し、中古船は 100 万米ドル程度というコメントがあった。

### 課題 3 内航船の基準の必要性

- ・過去に内航船の安全基準のドラフトが作成されたが法制化されていない<sup>41</sup>。旅客船については、航行する海域に限らず IACS の船級をとること、損傷時復原性 (Damage Stability) が要求されること、通信士を配乗することなどが要求され、外航船をベースとした国際ルールが要求されることは過剰である (過剰な規制との意見が多数であったが、安全性のために国際ルール適用は適切という意見もあった)。

### 課題 4 国内造船所のキャパシティー不足

- ・国内の造船所は新造船建造能力だけでなく、造船所の修繕キャパシティーも十分ではない。
- ・海運産業の中心であるセブでも船台が 3 つしかない上、高速道路建設のために土地を没収される造船所も出てくる可能性もある。
- ・現在でも修繕のためには、2~3 ヶ月前から修繕ヤードとスケジュールの調整が必要となる場合が多い。

### 課題 5 インセンティブの効率的な実施、迅速な手続き

- ・輸入船舶の付加価値税 (VAT) は免除されることになっているが、実際には支払ってから還付を受ける必要があり、還付には時間がかかる。また、書類の準備や手続きが煩雑なことから、利用されていないケースもある。
- ・運航の認可に時間がかかり、申請から運航開始までに 3 ヶ月を要したケースもある。

## 5.3 内航海運事業者の船隊整備に係る動向

調査を行った内航海運事業者 10 社のほとんどは、運航している船舶の多くが船齢の高い船舶であり、多くの事業者は船舶のリプレースを順次実施していく必要があると考えている。以下は各社における船隊の整備に関する動向を聴取した結果である。

A 社 :

- ・現在、所有・運航している船舶の多くは日本の中古船である。欧州の中古船も所有・運航している。新造船の初期投資の回収は容易ではなく、新造船の建造による船隊整備は行っておらず、新造船を建造する計画はない。

B 社 :

- ・日本から中古船を購入していたが、国際基準に準拠させるために IACS 船級であることが要求されるようになり、ここ 6 - 7 年は比較的船齢の低い中国の中古船を調達している。

---

<sup>41</sup> 2020 年 2 月、MARINA に聴取したところ、法制化に向けた具体的な動きはないようである。

- ・新造船については、3 隻の RORO 貨客船を最近調達しており、オーストラリアの設計会社による設計した中国建造<sup>42</sup>などである。
- ・カタマランの RORO 船の新造船を検討しており、インドネシア、ベトナム、中国の造船所に建造見積もりを依頼している。
- ・日本造船所と中国造船所では船価差が相当に大きく、償還期間が柔軟なソフトローンなどがあれば、日本造船所の新造船も検討したい。また、新造船を調達する負担は相当に大きく、チャーターや合弁企業の形で共同所有などに期待している。
- ・中古船を購入する際、中古エンジンの部品の入手が困難であり、エンジンの整備はせずに、中国メーカーのエンジンに換装することが多い。この方がコスト的にも安い。

#### C 社：

- ・2010 年の前後頃まで日本から中古の RORO 船を輸入していたが、今後は新造船によるリプレースを検討している。
- ・現在所有・運航する 140m 位のフェリーよりも若干大型化した船舶（岸壁の制約から、最適なサイズは 150m～160m で 1900 人乗り）を 2 隻調達しようと考え、2019 年 2 月に韓国や中国の造船所に相談したが、建造には 26 カ月を要するとのことだったので中古船を検討している。中古船は中国で探しており、候補となる船舶の視察も行った。調達できたら、シンガポールの造船所で 6 ヶ月かけて内部をホテルのように改造する計画である。
- ・この他、2029 年までに 9 隻のリプレースを検討しているが、中古船によるリプレースが中心となる。ただし、船価等の条件によっては 9 隻のうち 2～3 隻は新造船も検討したい。

#### D 社：

- ・9 隻の RORO 船を運航しているが、オペレーションを標準化するために、76m x 15m と 90m x 18m の 2 種類に統一したいとは考えている（MARINA のデータを見ると同社の船は 20m 代から 70m 代までばらつきがある）。
- ・航路はそれほど気象海象が厳しい海域ではないが、フィリピン沿岸警備隊による、500GRT 以下の船舶に対する高波発生時の運航規制が厳しいため、新造船はすべて 500GRT 以上となる。
- ・新造船は中国造船所（RINA 船級）で建造している。
- ・日本建造船は中国建造船に対して、エンジンのサイズが大きくオーバースペックであり、船価も相当の差がある。日本での新造船の船価が中国建造船の 10～20% 増くらいであれば日本建造も検討したい。
- ・現在はフィリピンの地場銀行でファイナンスを受けており、返済期間は中古船は 3 年、新造船で 5 年以上となっているが、償還期間が短く金利も高いという問題がある。

<sup>42</sup>中国から調達した新造船の 1 隻において、2019 年 8 月、エンジンルームを火元とする火災が発生し死者を出している。

#### E 社 :

- ・日本造船所の新造船により船隊整備を行っている。
- ・資本関係のある他の会社においても、1970年代に建造された老齢船は順次リプレースを図りたいと考えている。
- ・銀行からの資金調達が困難になってきており、融資を受けたとしても30~40%の自己資金が必要であり負担が大きい。

#### F 社

- ・所有・運航する船舶は全て中古船であり、新造船を建造するためには、1隻で5億ペソ（10~11億円）が必要となる。ROI（return of investment）を確保するのが難しく、ファイナンスのサポートがなければ新造船は難しい。
- ・一方、1980年代、1990年代の中古船はエンジンが古くメンテが難しくなっている。経験のあるエンジニアが引退してしまい、若いエンジニアはメンテの方法を知らない。また、スペアパーツがないこともあり、新しいエンジンに換装した方が維持が容易である。
- ・また、日本の建造船は、船型に対してエンジンが大きい。中古船については、出力の小さい中国製のエンジンに換装するメリットが大きい。小さいエンジンを高回転で使用することとなり、2~3年で取り換えることになるが、エンジン交換コストは高額ではない。
- ・中国のエンジンメーカーがサービスセンターを開設して、部品もフィリピンに在庫されていて便利であり、当該エンジンへの換装を考えている。
- ・船舶ファイナンス、メンテナンスの責任を負わずにすむので、船主から傭船して運航のみに専念したい。

#### G 社 :

- ・2010年以降、オーストラリアの設計会社の船舶を中国造船所で建造している。船型は全長が50メートル強で、船価は10億円~13億円である。中国建造船であるが、エンジンや軸系は日本製としている。
- ・船隊を30隻まで増やす計画であり、フィリピン開発銀行（DBP）や、United Coconut Planters 銀行から融資を受け、新造船建造も中国の造船所に発注済である。
- ・2030年までにさらに30隻を新造建造し、60隻体制の運航を計画しており、30隻はフィリピン国内での建造を目指している。

#### H 社 :

- ・欧州等から購入した中古船を改造して運航してきたが、1970年代の建造船は老齢化しており、政府の内航船の近代化の方針<sup>43</sup>に従い、徐々にリプレースを行うこととしている。

---

<sup>43</sup> MARINA は船齢 35 年以上の船舶は原則として運航させないという方針を持っていたが、2020 年 2 月時点で強制化がなされるか不透明である。

I 社：

- ・ LCT の新造船を導入しており、中国の造船所で建造を行っている。タグボートと貨物船は 70～90 年代の建造された中古船であり、現時点で新造船を建造する予定はない。

J 社：

- ・ 頻繁に修繕が必要となる船舶、燃費が悪い船舶は売却し、運航隻数を減らしている。
- ・ コンテナ輸送が中心であり、厳しい市場環境であるが、市場が上向けば船舶の調達を検討する。
- ・ 2019 年のコンテナ市場は前年と比べて横ばいであり上向いても 3～4%程度と想定しているが、イロイロ港、ダバオ港の港湾整備、セブにおける港湾開発による海運需要の増加に期待している。
- ・ 海運需要の増加により船舶を調達する場合には、300TEU 程度のコンテナ船が想定されるが、新船船は高価であるため、中古船の購入の可能性が高い。

## 6. フィリピン内航海運事業と日本海事産業等の関わりに係る今後の可能性

船舶は新造船建造の投資額が大きく、輸送需要の長期的見通しが困難であることは、フィリピンの内航海運事業者に限った悩みではないが、フィリピンにおいては、内航輸送需要の堅調な増加を背景とする新規参入の可能性、輸送コストの小さいバンカボートや LDC との競合、高い金利や自己資本が大きい銀行融資などに加え、内航海運の近代化のための規制導入（船齢規制等）の不確実が、内航海運事業者の新造船への投資を躊躇させる大きな原因になっていると考えられる。実際に、中古船の購入や最低限の設備を備える新造船を中国造船所に発注し、初期投資を抑えることで事業環境の変化等のリスクを最小化するか、当面は投資を見合わせる方針の内航海運事業者が多数存在する。

フィリピンの内航海運事業者の状況を踏まえ、フィリピンの内航海運の近代化と日本の海事産業との今後の関わりの可能性について考察する。

### ① 民間ベースによる共同所有等

内航海運事業者が抱える事業リスクを軽減しつつ、船隊の更新を図る方法として、共同所有が一つの方法として考えられ、本調査においても、船舶の所有を目的とした共同所有会社の設立などを期待する内航海運事業者が存在した。

一方、共同所有者は、内航海運事業者のリスクを共に背負うこととなるため、公的な出資の活用によるリスクの低減のため、例えば JICA 海外投融資制度の活用、内航海運事業者が事業継続困難になった場合等のリスクを考慮するのであれば、汎用性のある仕様の追及や、船体の良好な状態維持等のための運航への関連なども検討する必要があるかもしれない。

### ② 政府機関等との共有建造スキーム

内航海運事業者の一部は、日本の鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）が実施している共有建造と同様のスキームの構築を望んでいる。必要な資金の供給者としては、フィリピンの政府機関、業界団体、JICA の海外投融資なども考えられるかもしれない。

フィリピン政府の規制動向次第であるが、LDC や老朽化（償却を終了）した内航船との競合や、バンカボートとの競合などがあることを前提にすると、相当に長期の共有期間が必要となる可能性がある。また、内航海運事業者が事業継続困難となった際、売船先の確保が必要となることも想定されることから、汎用性のある仕様を追及することが必要となる可能性がある。また、共有に係る条件等については、フィリピンの造船所における修繕能力は高くはないことから、内航海運事業者による船舶の維持管理能力の向上等を目指す制度設計とすることも考えられる。

### ③ フィリピン国内における建造

PPA は造船工業団地を設立し、バンカボートの代替となる小型客船の建造や老朽化した RORO 船の建造を進めることを検討している。建造の効率化を図るため、造船所とともに、船用機器の製造も造船工業団地内で行うことを目指している。

PPA による造船工業団地の整備について、その詳細は明らかにされていないが、低コストでの小型旅客船や RORO 船の建造を PPA は目指しており、土地については PPA が整備し、造船や舶用機器は海外の造船所を含めて民間投資を期待している可能性が高いと考えられる。どの程度の需要が生じるかについては、バンカボートや老齢船の規制動向によるところが大きく、PPA は投資のインセンティブを検討するとしているが、現時点ではその内容は明らかにされていない。先行的な参入によるメリットは、造船工業団地に参入する企業の陣容と、規制やインセンティブの内容次第と考えられる。

上記に記載した内容のほか、日本の船主がファイナンスを行い日本で新造船を建造しフィリピンの内航海運事業者に貸渡（裸傭船）する事例（ただし、フィリピン内航海運事業者への与信等に依るところも大きいと考えられる。）、日本の物流会社がフィリピン企業との合弁企業を立ち上げ、日本で運航していた船舶をフィリピンで登録してフィリピンの内航海運事業に参入する事例など、直接的あるいは間接的に日本の海事関係企業がフィリピンの内航海運事業に参入する事例もある。

フィリピンの内航海運は、内航貨物・旅客ともに輸送需要は堅調に推移しており、今後も一定の新造船の建造需要が期待される市場と考えられ、実際に主要な内航海運会社の一部は新造船の整備を進める意向を有している。我が国の海事産業の参入可能性を追求する観点から、行政の老齢船等に対する規制動向、内航海運事業者の船舶のリプレースの動向等を継続的に把握することが必要である。

表及び図のリスト

表 1	フィリピンの基礎データ	2
表 2	人口構成	3
表 3	日本とフィリピンの平均年齢比較	3
表 4	支出項目別対実質 GDP シェアの推移 (%)	5
表 5	支出項目別伸び率 (%)	5
表 6	2018 年の業種別実質 GDP	8
表 7	GDP の業種別伸び率 (%)	9
表 8	フィリピン労働統計	10
表 9	2018 年 4 月から 8 月 OFW 人数および職種	10
表 10	品目別消費者物価指数の推移	11
表 11	フィリピンの主要品目別輸出入<通関ベース>	13
表 12	フィリピンの主要国・地域別輸出入<通関ベース>	13
表 13	フィリピンの対日主要品目別輸出入<通関ベース>	14
表 14	フィリピンの経常収支と国際収支	15
表 15	フィリピン政府のガバナンス指標	16
表 16	Aboitiz Equity Venture Inc. 決算数字と主な子会社・関連会社	17
表 17	SM Investments Inc の 決算数字と主な子会社・関連会社	18
表 18	Lorenzo Corporation の決算数字と Magsaysay Group の 主な子会社・関連会社	19
表 19	Ayala Corporation 決算数字と主な子会社・関連会社	19
表 20	JG Summit Holdings の 決算数字と主な子会社・関連会社	20
表 21	San Miguel Corporation 決算数字と主な子会社・関連会社	21
表 22	LT Group Inc. の 決算数字と主な子会社・関連会社	22
表 23	ICTSI と Bloomberry Resorts Corporation の決算数字と 主な子会社・関連会社	23
表 24	Lopez Holdings Corporation の決算数字と主な子会社・関連会社	23
表 25	Yuchengco group of companies 主要企業の決算数字と 主な子会社・関連会社	24
表 26	フィリピン登録船舶の内訳	26
表 27	船舶オペレーターの運航隻数の分布	29
表 28	旅客船、貨客船、RORO 船の主要オペレーター	30
表 29	主要航路と運航オペレーター	31
表 30	主要航路の運賃等	33
表 31	フィリピン港湾局 (PPA) 管轄の港湾の数	34
表 32	国内貨物取扱上位 20 位の PMO とその主要港	38
表 33	国内旅客利用者上位 20 位の PMO とその主要港	38
表 34	MARINA から認可を受けている造船所数 (2019 年 9 月現在)	42
表 35	MARINA 認可の大規模造船所 (2019 年 9 月現在)	43

表 36	2017 年のフィリピンの建造実績	44
表 37	木船退役スケジュール	46
表 38	MIDP 優先プログラムと予算	49
表 39	2019 年の入札で運航が決まった航路	59
表 40	PPA の港湾プロジェクト	60
図 1	フィリピンの 3 地方と 17 地域	1
図 2	フィリピンの人口及び人口伸び率	3
図 3	都市部と農村部の人口割合 2018 年	4
図 4	フィリピンの GDP と GDP 成長率推移	5
図 5	1 人あたり GDP	6
図 6	GDP、1 人あたり GDP、人口伸び率	6
図 7	実質 GDP に占める産業別構成比の推移	7
図 8	産業別労働力構成比の推移	7
図 9	実質 GDP の産業別伸び率 (%)	8
図 10	消費者物価指数の前年同月比及び政策金利の推移 (%)	11
図 11	ペソの対米ドル為替レート (1 ドルあたり)	12
図 12	RORO 船、旅客船、貨客船のサイズ分布	27
図 13	フィリピン籍船の平均船齢	27
図 14	RORO 船、旅客船、貨客船の船齢分布	28
図 15	航路地図	32
図 16	フィリピンの港湾の貨物取扱量推移	35
図 17	フィリピンの港湾の旅客利用者数推移	35
図 18	フィリピン港湾地域および主要 PMO の管轄地域	36
図 19	地域別国内貨物取り扱い数 (2018 年)	37
図 20	地域別国内旅客取り扱い数 (2018 年)	37
図 21	主要港の立地図	39
図 22	大手造船所の立地図	44
図 23	MIDP をその他の国家計画との関連図	48
図 24	Roble Shipping の航路地図	67



別添1 主要海運会社及びインタビュー先海運会社の登録船舶リスト

MONTENEGRO SHIPPING LINES, INC
ASIAN MARINE TRANSPORT CORP.
LITE SHIPPING CORPORATION and Group Companies
ALESON SHIPPING LINES, INC.
OCEAN FAST FERRIES, INC.
2GO GROUP, INC. and SuperCat Ferries
ROBLE SHIPPING LINES INC
COKALIONG GROUP
STARLITE FERRIES, INC.
MEDALLION TRANSPORT
ISLAND SHIPPING CORPORATION
E. B. AZNAR SHIPPING CORP.
Archipelago Philippines Ferries Corp.
MAAYO SHIPPING, INC.
MARINA FERRIES, INC.
DAIMA SHIPPING CORP.
TRANS ASIA SHIPPING LINES INC
Cebu Sea Charterers and its group companies

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	トン数
<b>MONTENEGRO SHIPPING LINES, INC</b>							
1	CITY OF BACOLOD	PASSENGER	BATANGAS	1988	19.48	4.6	49.67
2	CITY OF BATANGAS	PASSENGER	BATANGAS	1977	22.3	4.8	85.35
3	CITY OF CALAPAN	PASSENGER	BATANGAS	1973	20.1	4.78	112.16
4	CITY OF DAPITAN	PASSENGER	BATANGAS	1988	19.21	4.65	48.17
5	CITY OF LUCENA	PASSENGER	BATANGAS	1985	22.5	4.8	72
6	CITY OF MASBATE	PASSENGER	BATANGAS	1979	27.51	6	175.31
7	CITY OF SORSOGON	PASSENGER	BATANGAS	1979	27.51	6	175.31
8	CITY OF TABACO	PASSENGER	BATANGAS	1978	20.2	4.8	68.74
9	MARIA ANGELA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1973	36.01	9.5	371.53
10	MARIA DIANA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1970	58	12.8	1102.31
11	MARIA LINDA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1966	45.55	13.2	490
12	MARIA GLORIA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1967	39.51	10.95	267.47
13	MARIA HELENA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1969	43.8	10.7	1022.12
14	MARIA LOLITA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1986	39.01	9.5	439.75
15	MARIA MATILDE	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1971	66.09	12	1266.77
16	MARIA QUERUBIN	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1983	29.91	9.5	311.68
17	MARIA REBECCA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1972	45.56	13.2	748.81
18	MARIA URSULA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1990	53.76	14	959
19	MARIA WYNONA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1988	58	12.8	911
20	MARIA XENIA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1974	69	13.6	1415.24
21	MARIA YASMINA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1970	28.76	7.8	198.23
22	MARIA ZENaida	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1976	19.96	11.4	629.79
23	MARIE KRISTINA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1968	28.89	7.4	207.46
24	REINA EMPERATRIZ	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1977	59.9	11	1359
25	DSV DISCOVERY	PLEASURE	BATANGAS	1971	23.1	6.4	121.85
26	MARIA BEATRIZ	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1982	36.81	10	267.33
27	MARIA FELISA	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1983	53.3	13	1018.05
28	MARIA JOSEFA	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1981	38.14	9.1	292.54
29	MARIA SOPHIA	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1973	31.5	8.6	269.1
30	MARIA VANESSA	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1986	53.35	13	1019.12
31	MARIE TERESA	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1981	33.83	9	253.8
32	MONTENEGRO TUGBOAT	TUGS	BATANGAS	1976	20.71	4.9	49.94
33	CITY OF ANGELES	PASSENGER	BATANGAS	1982	24.41	6.93	136.03
34	CITY OF ILOILO	PASSENGER	BATANGAS	1998	26	5.4	97.59
35	CITY OF ZAMBOANGA	PASSENGER	BATANGAS	1988	31.67	8	266
36	CITY OF ZAMBOANGA	PASSENGER	BATANGAS	1988	31.67	8	266
37	AIDA-I	PASSENGER (DIVING	BATANGAS	2003	29	3.45	33.44
38	MARIA ISABEL	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1967	45.55	13.2	836.05
39	MARIA XENIA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1974	69	13.6	1415.24
40	MYEHIME NO. 1	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1968	28.89	7.4	207.46
41	REINA KLEOPATRA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1990	53	13	600
42	REINA NEPTUNA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1981	43.5	9.8	361.06
43	REINA OLYMPIA	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1994	62.4	11.8	998
44	REINA QUELITA	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1978	39.55	8.6	259.23
45	REINA SENTENCIADA	RO-RO PASSENGER	BATANGAS	2017	83.95	16.8	890
46	REINA URDUJA	RO-RO PASSENGER	BATANGAS	2015	86.83	16.8	1784.48
47	SANTA CARMELITA	RO-RO PASSENGER	BATANGAS	2018	67	14	686
48	MONTENEGRO TUGBOAT 2	TUGS	BATANGAS	1993	22.33	6.8	83
<b>ASIAN MARINE TRANSPORT CORP.</b>							
1	SUPER SHUTTLE FERRY 10	CARGO	CEBU	1989	150.7	25	20985
2	SUPER SHUTTLE RORO 11	CARGO	CEBU	1979	150.4	24	14805
3	SUPER SHUTTLE RORO 12	CARGO	CEBU	1984	148.05	20.75	15375
4	SUPER SHUTTLE RORO 14	CARGO	CEBU	1985	91.46	20	6974
5	SUPER SHUTTLE RORO 5	CARGO	CEBU	1979	101.18	17.5	6105
6	SUPER SHUTTLE RORO 6	CARGO	CEBU	1984	99.26	19.6	6786

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	ト数
7	SUPER SHUTTLE RORO 7	CARGO	CEBU	1994	138.37	21.4	13540
8	SUPER SHUTTLE RORO 8	CARGO	CEBU	1986	138.2	20.4	12189
9	SHUTTLE FAST FERRY - 1	PASSENGER	CEBU	1985	27	4.98	52
10	SUPER SHUTTLE FERRY - 2	PASSENGER	CEBU	1976	47.02	12.6	586.66
11	SUPER SHUTTLE FERRY - 1	PASSENGER	CEBU	1971	29.31	7.8	199.98
12	SUPER SHUTTLE FERRY - 10	PASSENGER	CEBU	1988	38.51	10.4	353.82
13	SUPER SHUTTLE FERRY - 11	PASSENGER	CEBU	1990	32.16	7.8	86
14	SUPER SHUTTLE FERRY - 12	PASSENGER	CEBU	1982	50.29	10.4	324
15	SUPER SHUTTLE FERRY - 14	PASSENGER	CEBU	1996	0	0	91
16	SUPER SHUTTLE FERRY - 16	PASSENGER	CEBU	1990	0	0	86
17	SUPER SHUTTLE FERRY - 18	PASSENGER	CEBU	1988	0	0	695
18	SUPER SHUTTLE FERRY - 24	PASSENGER	CEBU	1993	27.49	9.6	175.65
19	SUPER SHUTTLE FERRY - 7	PASSENGER	CEBU	1973	54.31	11.1	730.42
20	SUPER SHUTTLE FERRY - 9	PASSENGER	CEBU	1971	29.96	8	189.94
21	SUPER SHUTTLE FERRY - III	PASSENGER	CEBU	1971	28.76	7.8	192.32
22	SUPER SHUTTLE FERRY - V	PASSENGER	CEBU	1982	42.01	11.5	565.44
23	SUPER SHUTTLE FERRY - VI	PASSENGER	CEBU	1978	29.7	7	134.83
24	SUPER SHUTTLE FERRY 17	PASSENGER	CEBU	1984	32.64	8	98
25	SUPER SHUTTLE FERRY 21	PASSENGER	CEBU	1992	36.5	8.8	197
26	SUPER SHUTTLE FERRY 25	PASSENGER	CEBU	1989	74.11	16.29	2796
27	SUPER SHUTTLE RORO 1	PASSENGER	CEBU	1989	89	16.6	1783.9
28	SUPER SHUTTLE FERRY SB-1	PASSENGER SHIP	CEBU	2004	11	2.7	14.69
29	SUPER SHUTTLE FERRY - 15	PASSENGER/ CARGO	BATANGAS	1967	45.51	11.8	486.81
30	SUPER SHUTTLE FERRY - 23	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1989	35.61	8.6	195
31	SUPER SHUTTLE FERRY 19	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1988	0	0	383
32	SUPER SHUTTLE FERRY 20	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1992	39.55	9.5	353
33	SUPER SHUTTLE FERRY 22	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1993	61.66	14	999
34	SUPER SHUTTLE RORO - 2	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1987	85.39	14.2	1737
35	MARIAH JUBILEE	PLEASURE YACHT	CEBU	2000	8.54	2.44	8.65
36	SUPER SHUTTLE RORO 9	RO-RO CARGO	CEBU	1980	163.06	23	17884
37	SUPER SHUTTLE RORO 3	RO-RO PASSENGER	CEBU	1989	104.16	19.9	4977.14
38	SUPER SHUTTLE TUG 1	TUG	CEBU	1986	31.5	9.8	225
39	SUPER SHUTTLE TUG 2	TUG	CEBU	1982	30.27	9.6	292
40	SUPER SHUTTLE ROCON 16	CONTAINER SHIP	CEBU	1994	109.5	20.2	7945
41	SHUTTLE FAST FERRY - 1	PASSENGER	CEBU	1985	27	4.98	52
42	SUPER SHUTTLE FERRY - 1	PASSENGER	CEBU	1971	29.31	7.8	199.98
43	SUPER SHUTTLE FERRY 28	PASSENGER	CEBU	1994	37.15	8.8	258
44	SUPER SHUTTLE LCT 1	PASSENGER	CEBU	1994	52.32	11	481
45	SUPER SHUTTLE FERRY 20	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1992	39.55	9.5	353
46	SUPER SHUTTLE RORO - 2	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1987	85.39	14.2	1737
47	SUPER SHUTTLE TUG 3	TUG	CEBU	1997	33.25	9.2	192
	<b>LITE SHIPPING CORPORATION and Group Companies</b>						
	<b>LITE SHIPPING CORPORATION</b>						
1	LITE FERRY - 8	PASSENGER	CEBU	1973	68	12.6	1109.97
2	LITE FERRY 17	PASSENGER	CEBU	1996	64.6	14.8	2193
3	LITE FERRY 20	PASSENGER	CEBU	1964	47.1	10.97	242.04
4	LITE FERRY 22	PASSENGER	CEBU	1990	55.44	9.75	352.41
5	LITE FERRY 23	PASSENGER	CEBU	1984	57.5	16	496.88
6	LITE FERRY 26	PASSENGER	CEBU	2012	61.5	10.97	704.75
7	LITE FERRY 27	PASSENGER	CEBU	2015	62.18	16.8	898.65
8	LITE FERRY 5	PASSENGER	CEBU	1983	38.4	8	236.38
9	LITE FERRY 5	PASSENGER	CEBU	1983	38.4	8	295.18
10	LITE FERRY 6	PASSENGER	MANILA	1972	43	11	618.57
11	LITE FERRY - 8	PASSENGER/ CARGO	ILOILO	1973	68.17	12.6	1109.97
12	LITE FERRY 7	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1972	47	10.8	493.31
13	LITE FERRY 18	RO-RO PASSENGER	CEBU	2002	86.16	16	3881
14	LITE FERRY 19	RO-RO PASSENGER	CEBU	2002	86.16	16	3881

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	ト数
15	LITE FERRY 7	RO-RO PASSENGER	CEBU	1972	47	10.8	509.26
<b>DANILO LINES, INC.</b>							
16	LITE FERRY - 1	PASSENGER	CEBU	1969	44	11	479.97
17	LITE FERRY - 1	PASSENGER	CEBU	1969	44	11	479.97
18	LITE FERRY - 12	PASSENGER	CEBU	1983	41	9.6	249
19	LITE FERRY - 2	PASSENGER	CEBU	1969	45.21	11	489.62
20	LITE FERRY - 9	PASSENGER	CEBU	1997	41	10	170
21	LITE FERRY 11	PASSENGER	CEBU	1987	60.7	15	462
22	LITE FERRY 15	PASSENGER	CEBU	1976	59.8	11.4	827.23
23	LITE FERRY 21	PASSENGER	CEBU	1980	47.69	9.76	350.59
24	LITE FERRY 3	PASSENGER	CEBU	1969	38.3	9	231
25	LITE FERRY 88	PASSENGER	CEBU	2016	57.2	20	1150
26	LITE FERRY - 2	RO-RO PASSENGER	CEBU	1969	45.31	11	489.62
<b>SUNLINE SHIPPING CORP.</b>							
27	ALLAN JAMES	CARGO	CEBU	1982	48	9	250
28	BUENAVISTA SHUTTLE - 1	CARGO	CEBU	2008	36	7.5	201.14
29	LITE FERRY - 10	PASSENGER	CEBU	1987	63.67	11.96	999.32
30	LITE FERRY 16	PASSENGER	CEBU	1995	64.6	16	992.71
31	LITE FERRY 25	PASSENGER	CEBU	2012	49.3	13.8	496
32	LITE FERRY 29	PASSENGER	CEBU	2016	66.5	16.8	795
33	LITE FERRY 30	PASSENGER	CEBU	2016	66.5	16.8	795
34	OCEAN JET 11	PASSENGER	CEBU	1989	27.8	5.6	79
35	SR.SAN JOSE DE	PASSENGER	MANILA	1972	43	13.2	618.57
<b>ALESON SHIPPING LINES, INC.</b>							
1	ALESON CON CARRIER - 15	CARGO	ZAMBOANGA	1996	80.8	14.5	2921
2	ALESON CON CARRIER - 8	CARGO	ZAMBOANGA	1989	53.3	9.3	246.55
3	ALESON CON CARRIER - 8	CARGO	ZAMBOANGA	1989	53.3	9.3	246.55
4	ALESON CON CARRIER-5	CARGO	ZAMBOANGA	1989	53.3	9.5	246.72
5	ALESON CONCARRIER - 1	CARGO	ZAMBOANGA	1988	47	10.5	248.43
6	ALESON CONCARRIER - 10	CARGO	ZAMBOANGA	1986	46.65	0	287.72
7	ALESON CONCARRIER - 11	CARGO	ZAMBOANGA	1989	53.35	0	611.88
8	ALESON CON-CARRIER - 14	CARGO	ZAMBOANGA	1988	90.36	15.2	2915
9	ALESON CONCARRIER - 2	CARGO	ZAMBOANGA	1988	53.15	9.5	247.82
10	ALESON CONCARRIER - 3	CARGO	ZAMBOANGA	1989	55.75	9.6	247.34
11	ALESON CON-CARRIER - 5	CARGO	ZAMBOANGA	1989	53.3	9.5	246.72
12	ALESON CONCARRIER - 6	CARGO	ZAMBOANGA	1987	54.35	9.5	246.83
13	ALESON CON-CARRIER - 7	CARGO	ZAMBOANGA	1988	54.55	9.8	248.43
14	ALESON CONCARRIER - 9	CARGO	ZAMBOANGA	1986	62.93	0	692.72
15	ALESON CONCARRIER - I	CARGO	ZAMBOANGA	1988	47	10.5	238.85
16	ALESON CONCARRIER-10	CARGO	ZAMBOANGA	1986	46.65	10.5	287
17	ALESON CONCARRIER-12	CARGO	ZAMBOANGA	1991	87.16	13.8	2448
18	ALESON CONCARRIER-12	CARGO	ZAMBOANGA	1991	87.16	13.8	2448
19	NICO BRYAN	CARGO	ZAMBOANGA	1976	49	9.3	244.42
20	NICO BRYAN	CARGO	ZAMBOANGA	1980	49	9.3	244.42
21	NEVEEN	CATCHER	ZAMBOANGA	1975	30.4	6.4	223.56
22	ANIKA GAYLE-2	PASSENGER	ZAMBOANGA	1990	25.2	6	116.35
23	ANIKA GAYLE-2	PASSENGER	ZAMBOANGA	1990	25.2	6	116.35
24	CIARA JOIE	PASSENGER	ZAMBOANGA	1979	32.5	8.7	210.85
25	DANICA JOY	PASSENGER	ZAMBOANGA	1972	45	11.28	493.46
26	KRISTEL JANE - 3	PASSENGER	ZAMBOANGA	1983	57.36	11.2	494.03
27	LADY MARY JOY-1	PASSENGER	ZAMBOANGA	1994	49.8	9.1	671.15
28	SEA JET	PASSENGER	ZAMBOANGA	2003	38.71	4.22	97.07
29	TRISHA KERSTIN 3	PASSENGER	ZAMBOANGA	1995	44	11.2	621.57
30	ANTONIA - 1	PASSENGER AND / OR	ZAMBOANGA	1992	103.57	15.5	3471
31	SEA JET	PASSENGER SHIP	ILOILO	2003	38.71	4.22	97.07
32	ANTONIA - 1	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1992	103.57	15.5	3471
33	CIARA JOIE	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1982	35.58	8.6	210.85

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	ト数
34	CIARA JOIE - 3	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1995	33	9.5	191
35	CIARA JOIE - 3	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1995	33	9.5	191
36	CIARA JOIE-2	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1982	34.25	8.7	266.37
37	CIARA JOIE-2	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1982	34.25	8.7	266.37
38	CIARA JOIE-6	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1981	35.58	8.6	255.78
39	DANICA JOY - 1	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1972	45.6	11.28	493.46
40	DANICA JOY - 2	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1982	62.8	12	998.52
41	ESTRELLA DEL MAR	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1975	38.13	6.71	230.44
42	KRISTEL JANE - 3	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1983	57.36	11.2	494.03
43	LADY MARY JOY-3	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1990	70	11	835.58
44	LADY MARY JOY-3	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1990	70	11	835.58
45	STEPHANIE MARIE	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1979	60.95	12	770.73
46	STEPHANIE MARIE	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1979	60.95	12	770.73
47	TRISHA KERSTIN - 1	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1986	39.61	0	320.63
48	TRISHA KERSTIN - 2	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1979	55.9	0	637.97
49	TRISHA KERSTIN-2	PASSENGER/ CARGO	ZAMBOANGA	1989	55.9	14	637.97
50	CIARA JOIE - 7	PASSENGER / CARGO RO - RO	ZAMBOANGA	1997	50	13	319
51	CIARA JOIE 5	RO-RO PASSENGER	ZAMBOANGA	1987	35.2	10.5	264
52	KRISTEL JANE - 5	RO-RO PASSENGER	ZAMBOANGA	1997	56.8	11.2	833.09
53	STEPHANIE MARIE - 2	RO-RO PASSENGER	ZAMBOANGA	1996	51.5	14	983.53
54	MUSCLEMAN	TUG	ZAMBOANGA	1988	13.52	4.8	28.47
	<b>OCEAN FAST FERRIES, INC.</b>						
1	OCEAN JET 10	PASSENGER	CEBU	1999	23.4	8.9	249
2	OCEAN JET 12	PASSENGER	CEBU	1998	20	8.9	242
3	OCEAN JET 168	PASSENGER	CEBU	2015	32.1	7.2	253.88
4	OCEAN JET 188	PASSENGER	CEBU	2016	32.8	7.2	256.08
5	OCEAN JET 288	PASSENGER	CEBU	2017	32.8	7.2	256.08
6	OCEAN JET 388	PASSENGER	CEBU	2017	32.8	7.2	256.08
7	OCEAN JET 588	PASSENGER	CEBU	2018	32.8	7.2	256.08
8	OCEAN JET 8	PASSENGER	CEBU	2011	31.8	7.2	252.18
9	OCEAN JET 88	PASSENGER	CEBU	2012	31.8	7.2	252.18
10	OCEAN JET 888	PASSENGER	CEBU	2014	31.8	7.2	252.18
11	OCEAN JET 888	PASSENGER	CEBU	2014	31.8	7.2	252.18
12	OCEANJET - 1	PASSENGER	CEBU	1985	28.12	5.9	99.46
13	OCEANJET - 2	PASSENGER	CEBU	1989	29.19	6.4	147.45
14	OCEANJET - 3	PASSENGER	CEBU	2001	32	7.14	200.14
15	OCEANJET - 5	PASSENGER	CEBU	2002	32	7.14	200.14
16	OCEANJET - 6	PASSENGER	CEBU	2003	29.02	7.14	223
17	OCEANJET - 6	PASSENGER	CEBU	2003	32	7.14	251.9
18	OCEANJET - 7	PASSENGER	CEBU	1979	32.8	9.2	275.35
19	OCEANJET 9	PASSENGER	CEBU	1997	23.74	8.6	167.6
	<b>2GO GROUP, INC. and SuperCat Ferries</b>						
	<b>2GO GROUP, INC.</b>						
1	ST. ANTHONY DE PADUA	PASSENGER	CEBU	1985	80	15	1792
2	ST. AUGUSTINE OF HIPPO	PASSENGER	CEBU	1988	89.23	16	2778
3	ST. IGNATIUS OF LOYOLA	PASSENGER	CEBU	1988	95	16.2	2825.35
4	ST. THERESE OF CHILD JESUS	PASSENGER	CEBU	1989	150.1	25	16622
5	ST. FRANCIS XAVIER	RO-RO PASSENGER	CEBU	1990	143.55	25	11191.11
6	ST. IGNATIUS OF LOYOLA	RO-RO PASSENGER	CEBU	1988	95	16.2	2825.35
7	OUR LADY OF FATIMA	PASSENGER CARGO	CEBU	1972	97.6	19.2	2366.8
8	ST. JOAN OF ARC	PASSENGER/ CARGO	MANILA	1973	131.05	22.1	11638.26
9	ST. POPE JOHN PAUL II	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1984	165.31	26.8	15223.46
10	ST. THOMAS AQUINAS -	PASSENGER/ CARGO	MANILA	1972	128.5	22.14	11405.16
11	ST. LEO THE GREAT	RO-RO PASSENGER	MANILA	1992	144.9	25	19468

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	ト数
<b>SUPERCAT FAST FERRY CORP.</b>							
12	ST. URIEL	PASSENGER	CEBU	1992	29.03	7.4	229
13	SUPERCAT - 36	PASSENGER	CEBU	1990	31	10	238
14	SUPERCAT 21	PASSENGER	CEBU	1995	33.8	8	385
15	SUPERCAT 26	PASSENGER	CEBU	1998	23.9	8.6	175.73
16	ST. BRAQUIEL	PASSENGER	CEBU	1996	32	9.04	292.95
17	ST. DOMINIC I	PASSENGER	CEBU	1990	31	10	255
18	ST. JHUDIEL	PASSENGER	CEBU	1995	32	9.04	292.95
19	ST. MICAH	PASSENGER	CEBU	1990	32	11.5	295
20	ST. NURIEL	PASSENGER	CEBU	2000	32	8.5	264.63
21	ST. SEALTHIEL	PASSENGER	CEBU	2000	32	8.5	264.63
<b>ROBLE SHIPPING LINES INC</b>							
1	DON JOSE, SR	CARGO	CEBU	1977	49.21	8.6	238.63
2	STAR BACOLOD	CARGO	MANILA	1983	44.37	8.2	238.63
3	ORMOC STAR	PASSENGER	CEBU	1971	48	8.3	248.2
4	WONDERFUL STARS	PASSENGER	CEBU	1979	71.31	13.4	1297.72
5	HEAVEN STAR	PASSENGER CARGO	CEBU	1971	82.2	14.6	1597.99
6	DON SERAFIN	CARGO	CEBU	1982	53.15	9	498
7	DOÑA SEBASTIANA	CARGO	CEBU	2001	44.15	7.6	227.47
8	STAR CONCEPCION	CARGO	CEBU	1982	63.1	11.5	635.36
9	STAR DINAGAT	CARGO	CEBU	1988	45	12	248
10	STAR HILONGOS	CARGO	CEBU	1990	42.88	11.2	499.74
11	STAR HINUNDAYAN	CARGO	CEBU	1983	60	11.5	498
12	STAR ILIGAN	CARGO	CEBU	1989	44.35	10	193
13	STAR ORMOC	CARGO	CEBU	1985	67.83	12.5	498.91
14	STAR OZAMIS	CARGO	CEBU	1988	53.59	11.5	354.29
15	STAR ZAMBOANGA	CARGO	CEBU	1988	71	11.5	997
16	STARS	CARGO	CEBU	2012	57	16.2	495.71
17	STAR CEBU	GENERAL CARGO	CEBU	1973	51.51	11	249.4
18	STAR SABANG	GENERAL CARGO	CEBU	1987	44.2	8.3	249.26
19	STARS DANA O	GENERAL CARGO	CEBU	1987	58.2	9.5	199
20	ASIAN STAR	PASSENGER	CEBU	1979	44.65	10.2	494.72
21	BEAUTIFUL STARS	PASSENGER	CEBU	1978	35.51	10	321.16
22	BLESSED STARS	PASSENGER	CEBU	1979	44.65	10.2	494.72
23	GLORIOUS STAR	PASSENGER	ZAMBOANGA	1979	71.31	13.4	910
24	GRACEFUL STAR	PASSENGER	CEBU	1984	73.72	13.6	970.74
25	OROQUIETA STARS	PASSENGER	CEBU	1994	71.24	12	935.85
26	SACRED STARS	PASSENGER	CEBU	1979	44.65	10.2	509.77
27	STARS II	PASSENGER	CEBU	2013	70	16	627.08
28	SUPERJOY	PASSENGER	CEBU	1996	28.6	7.53	112
29	THERESIAN STARS	PASSENGER	CEBU	1973	63.5	13.6	996.31
30	TWINKLE LITTLE STAR	PASSENGER	CEBU	1981	22.03	5.3	89.36
31	BEAUTIFUL STARS	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1978	22.51	8.6	189
32	ALMIGHTY STAR	RO-RO PASSENGER	ZAMBOANGA	1993	63.9	11.8	719.92
33	LITTLE JR	TUG	CEBU	1977	12.7	4.48	16
34	ROBLE TUG 3	TUG	CEBU	1985	12.69	4.8	19
<b>COKALIONG GROUP</b>							
<b>COKALIONG CONTAINER CARRIER CORP.</b>							
1	COKALIONG TUG 1	TUG	CEBU	1979	28.37	8.8	192.21
2	COKALIONG TUG 2	TUG	CEBU	1987	29	9.2	310
<b>COKALIONG SHIPPING LINES INC.,</b>							
3	FILIPINAS BUTUAN	PASSENGER	CEBU	1982	73	14.3	3086
4	FILIPINAS BUTUAN	PASSENGER	CEBU	1982	73	14.3	3086
5	FILIPINAS CEBU	PASSENGER	CEBU	1993	72	0	2726.82
6	FILIPINAS DINAGAT	PASSENGER	CEBU	1972	60.52	13	1173.7
7	FILIPINAS DUMAGUETE	PASSENGER	CEBU	1970	45.87	11	637.8

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	トン数
8	FILIPINAS ILIGAN	PASSENGER	CEBU	1978	73	14.3	3084
9	FILIPINAS ILOILO	PASSENGER	CEBU	1979	81.3	14.8	2772.49
10	FILIPINAS JAGNA	PASSENGER	CEBU	1997	70	14.5	2997.78
11	FILIPINAS MAASIN	PASSENGER	CEBU	1960	81.3	14.8	2661.62
12	FILIPINAS NASIPIT	PASSENGER	CEBU	1992	80.55	13.8	1499.75
13	FILIPINAS DAPITAN	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1971	63.5	12.8	1056.19
14	FILIPINAS DAPITAN	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1971	63.5	12.8	1056.19
15	FILIPINAS OZAMIS	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1998	82.55	14	1560.06
16	FILIPINAS OZAMIS	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1998	82.55	14	1560.06
17	FILIPINAS DUMAGUETE	RO-RO PASSENGER	CEBU	1970	45.87	11	637.8
18	FILIPINAS ILIGAN	RO-RO PASSENGER	CEBU	1978	73	14.3	3084
<b>STARLITE FERRIES, INC.</b>							
1	STARLITE TAMARAW	CARGO SHIP	BATANGAS	1981	46.6	10	510.1
2	STARLITE BLUE SEA	PASSENGER	BATANGAS	1973	28.4	5.3	146.75
3	STARLITE JUNO	PASSENGER	BATANGAS	1986	27	5.2	103.27
4	SUPER SEABUS	PASSENGER SHIP	BATANGAS	1977	23	4.8	68.74
5	STARLITE ANNAPOLIS	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1982	60.96	12	1176.27
6	STARLITE ATLANTIC	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1975	65	13.6	1497.45
7	STARLITE EAGLE	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	2016	63.35	15.3	2712
8	STARLITE FERRY	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1971	38	16	574.02
9	STARLITE NAVIGATOR	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1971	53.4	13.5	1101.47
10	STARLITE PACIFIC	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1983	44	11.6	498.76
11	STARLITE PIONEER	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	2015	63.35	15.3	2682
12	STARLITE RELIANCE	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	2016	63.35	15.3	2705
13	STARLITE SATURN	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	2016	63.35	15.3	2700
14	STARLITE ARCHER	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2017	63.35	15.3	2725
15	STARLITE JUPITER	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1989	65.12	12	723.04
<b>MEDALLION TRANSPORT</b>							
1	LADY OF DIVINE GRACE	CARGO	CEBU	1987	33	7.5	98.37
2	LADY OF ROSARY	CARGO	CEBU	1985	42.3	8.2	99.47
3	ST. PADRE PIO	CARGO	CEBU	2000	45	8	248.06
4	LADY OF ANGELS	PASSENGER	CEBU	1977	36.5	9.28	287.05
5	LADY OF CARMEL	PASSENGER	CEBU	1980	23	6.8	98.46
6	LADY OF CHARITY	PASSENGER	CEBU	1969	33	7.8	254.04
7	LADY OF GUADALUPE-CEBU	PASSENGER	CEBU	1987	32.5	9.5	254.45
8	LADY OF MIRACULOUS	PASSENGER	CEBU	1984	40	10	347
9	LADY OF SACRED HEART	PASSENGER	CEBU	1977	29	7	98.23
10	LADY OF CONFIDENCE	CARGO	CEBU	1992	66.93	13	499
11	LADY OF COURAGE	CARGO	CEBU	1992	57.69	9.5	199
12	LADY OF DIVINE GRACE	CARGO	CEBU	1987	33	7.5	98.37
13	LADY OF GOOD SUCCESS	CARGO	CEBU	1987	47	8.2	163
14	LADY OF SALVATION	CARGO	CEBU	1985	68.71	11.5	987.96
15	LADY OF VICTORY	CARGO	CEBU	1990	52.45	9	248.88
16	LADY OF WISDOM	CARGO	CEBU	1990	43.5	9.5	248.83
17	VALERIE	CARGO	CEBU	1970	21.34	4.57	34.4
18	LADY OF GUIDANCE	GENERAL CARGO	CEBU	1984	65.25	11.5	718
19	LADY OF ALL NATIONS	PASSENGER	CEBU	1977	50	12.8	592
20	LADY OF SACRED HEART	PASSENGER	CEBU	1977	29	7	98.23
21	LADY OF SMILE	PASSENGER	CEBU	1994	47.77	10.2	300.49
22	LADY OF GOOD VOYAGE	RO-RO PASSENGER	CEBU	1982	67.5	14.5	2150
23	LADY OF LOVE	RO-RO PASSENGER	CEBU	1979	88.26	15.3	2434
24	LADY OF LOVE	RO-RO PASSENGER	CEBU	1979	88.26	15.3	2434
25	LADY OF TRIUMPH	RO-RO PASSENGER	CEBU	1998	67.74	15.4	3130
<b>ISLAND SHIPPING CORPORATION</b>							
1	ISLAND TRANSPORT I	CARGO	LA UNION	1989	72.37	12	437

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	トン数
2	ISLAND - II	PASSENGER	CEBU	2010	39.05	10	571.48
3	ISLAND - III	PASSENGER	CEBU	2014	46.5	9.5	390.01
4	ISLAND FASTCRAFT - I	PASSENGER	CEBU	1982	19.6	4.78	89.08
5	ISLAND I	PASSENGER	CEBU	1979	44.25	9	290.63
6	ISLAND VENTURES I	PASSENGER	CEBU	2015	59.98	12	398.88
7	ISLAND VENTURES II	PASSENGER	CEBU	2016	61.2	12.6	554
8	ISLAND - 1	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1979	44.25	9	590.63
9	ISLAND EXPRESS - 3	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1978	26.5	7.1	192.63
10	ISLAND EXPRESS - V	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1976	26.01	7.2	219.39
11	ISLAND RORO - II	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1978	34	8.6	198.96
12	SUPER ISLAND EXPRESS -III	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1972	32.25	6.6	169.83
13	ISLAND RORO - 1	RO-RO PASSENGER	CEBU	1978	30.51	8	196.53
14	ISLAND VOYAGERS 1	TUG	CEBU	1944	28.65	7.59	180
<b>E. B. AZNAR SHIPPING CORP.</b>							
1	MANOLING 2	PASSENGER	CEBU	2016	53.76	11.6	616
2	MELRIVIC I	PASSENGER	CEBU	1967	41.2	9.6	321.34
3	MELRIVIC ELEVEN	CARGO	CEBU	1969	36.58	9.14	168.62
4	AZNAR WATER TAXI - 1	PASSENGER	CEBU	1987	21.12	4.05	40.19
5	FASTCRAFT AZNAR - II	PASSENGER	CEBU	1978	16.86	4.1	49.23
6	FASTCRAFT AZNAR - III	PASSENGER	CEBU	1979	16.85	4.1	63.76
7	MELRIVIC - 1	PASSENGER	CEBU	1967	41.2	9.6	321.34
8	MELRIVIC - 2	PASSENGER	CEBU	1975	36.01	9.5	334.04
9	MELRIVIC - 9	PASSENGER	CEBU	1979	27.06	7.1	222.5
10	MELRIVIC SEVEN	PASSENGER	CEBU	1965	39.5	10	506.73
11	FASTCRAFT AZNAR V	PASSENGER FERRY	CEBU	1980	18	4.8	51.11
12	MELRIVIC TEN	PASSENGER SHIP	CEBU	1982	28.28	8.1	280.47
13	MELRIVIC - 3	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1975	31	8.3	198.06
<b>Archipelago Philippines Ferries Corp.</b>							
1	FAST CAT M1	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2012	49.79	17.5	967
2	FAST CAT M10	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2014	47.28	17.5	698
3	FAST CAT M11	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2014	47.28	17.5	698
4	FAST CAT M2	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2012	49.79	17.5	967
5	FAST CAT M3	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2011	49.79	17.5	967
6	FAST CAT M5	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2013	49.79	17.5	967
7	FAST CAT M6	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2012	49.79	17.5	967
8	FAST CAT M7	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2013	47.28	17.5	698
9	FAST CAT M8	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2013	47.28	17.5	698
10	FAST CAT M9	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	2014	47.28	17.5	698
11	FAST CAT M12	RO-RO PASSENGER	BATANGAS	2016	47.27	17.5	742
12	FAST CAT M14	RO-RO PASSENGER	BATANGAS	2016	47.29	17.49	742
<b>MAAYO SHIPPING, INC.</b>							
1	MARTIN III	LCT / PASSENGER	BATANGAS	2017	56.32	11.58	491
2	BATO TWIN 1	PASSENGER	CEBU	2010	54	12	278.43
3	GEORGIA - 1	PASSENGER	CEBU	1980	51	9.5	249
4	GIOK CHONG II	PASSENGER	BATANGAS	2017	56.32	11.58	491.9
5	MARTIN	PASSENGER	CEBU	1978	33.5	7.79	152.16
6	MARTIN II	PASSENGER	CEBU	2014	54	11.59	497
7	MARTIN III	PASSENGER	CEBU	2017	56.32	11.58	491
8	TAMPI TWIN	PASSENGER	CEBU	1991	32.2	7.31	120.48
9	WILCOX	PASSENGER	CAGAYAN DE	1975	43.6	9.15	272.3
10	BATO TWIN	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1988	38.1	7.62	120.06
11	WILCOX - II	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	2016	55.89	11.59	387.28
12	GIOK CHONG	RO-RO PASSENGER	CEBU	1974	45.73	9.76	211.3
<b>MARINA FERRIES, INC.</b>							

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	ト数
1	REINA BANDERADA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1997	45	10.5	373
2	REINA GENOVEVA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1979	55	11	1285
3	REINA HOSANNA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1982	55	14	1528
4	REINA JUSTISYA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	2002	45.5	9.4	332
5	REINA VERONICA	PASSENGER/CARGO	BATANGAS	1984	36.5	9.6	443
6	REINA DEL CIELO	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1989	55	14	492
7	REINA DEL ROSARIO	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1971	76.25	14	2093.19
8	REINA DELOS ANGELES	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1993	56.38	12.8	995
9	REINA DELOS FLORES	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1991	53.46	12.8	987
10	REINA IMMACULADA	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1984	60	11	1285
11	REINA TIMOTEA	RO-RO PASS/CARGO	BATANGAS	1981	60	13	1567
<b>DAIMA SHIPPING CORP.</b>							
1	GRAND PELICAN	RO-RO PASS/CARGO	CAGAYAN DE	1992	38.5	10.5	268.76
2	GRAND PELICAN - 2	RO-RO PASS/CARGO	CAGAYAN DE	1995	34.55	10.5	309.16
3	ROYAL SEAL	RO-RO PASS/CARGO	CAGAYAN DE	1988	39.8	9.5	319.56
4	ROYAL SEAL-2	RO-RO PASS/CARGO	CAGAYAN DE	1992	40	9.5	280.17
5	SWALLOW - 1	RO-RO PASS/CARGO	CAGAYAN DE	1971	29.91	10	185.39
6	SWALLOW-2	RO-RO PASS/CARGO	CAGAYAN DE	1974	29.92	10	203.55
7	SWALLOW-3	PASSENGER / CAR	CAGAYAN DE	1971	38.86	10	208.26
8	ROYAL DOLPHIN 2	PASSENGER/RORO	CAGAYAN DE	2004	59.37	11	670
9	ROYAL DOLPHIN 3	RO-RO PASS/CARGO	CAGAYAN DE	1990	46.26	9.5	561
10	ROYAL SEAL 3	RO-RO PASS/CARGO	CAGAYAN DE	1992	53	13	771
<b>TRANS ASIA SHIPPING LINES INC</b>							
1	TRANS - ASIA	PASSENGER	CEBU	1972	89	7.7	3,797.3
2	ASIA CHINA	PASSENGER/ CARGO	CEBU	1972	93	17.7	3,991.8
3	ASIA MALAYSIA	PASSENGER	CEBU	1974	65	13.6	2,439.8
4	ASIA PHILIPPINES	PASSENGER	CEBU	1975	60.37	12	1,053.3
5	ASIA PHILIPPINES	PASSENGER	CEBU	1975	60.37	12	1,053.3
6	TRANS-ASIA II	PASSENGER	CEBU	1977	76.25	15	1,389.0
7	TRANS-ASIA 10	PASSENGER	CEBU	1979	105	19	3,998.3
8	ASIA PACIFIC	CARGO	CEBU	1981	90.36	14	1,377.8
9	ASIA PACIFIC	GENERAL CARGO	CEBU	1981	90.36	14	1,377.8
10	TRANS-ASIA 5	CARGO	CEBU	1989	111	19	4,790.0
11	TRANS-ASIA 3	PASSENGER	CEBU	1989	0	0	2,908.5
12	TRANS - ASIA 15	CARGO	CEBU	1995	105.99	18.2	6,384.0
13	TRANS - ASIA 16	CONTAINER SHIP	CEBU	1996	105.99	18.2	6,251.0
14	TRANS- ASIA 17	CONTAINER SHIP	CEBU	1999	110.5	18.2	6,543.0
15	LAPU-LAPU UNO	CARGO	CEBU	2014	69.35	13.6	622.3
<b>Cebu Sea Charterers and its group companies</b>							
<b>BROADWAY ONE SHIPPING CORP.</b>							
1	585	CARGO	CEBU	2009	78	17	885
2	828	CARGO	CEBU	2009	82.8	17	890
3	585	RO-RO CARGO	CEBU	2009	78	17	885
4	168	CARGO	CEBU	2012	76.2	16.8	760
5	268	CARGO	CEBU	2012	64.45	16.2	518
6	369	CARGO	CEBU	2012	80.58	18.5	738
7	323	CARGO	CEBU	2013	76.2	16.8	528
8	368	CARGO	CEBU	2013	68.28	18	528
9	528	CARGO	CEBU	2013	72.88	16.8	518
10	568	CARGO	CEBU	2013	68.7	16.2	508
11	855	CARGO	CEBU	2013	76.4	16.8	518
<b>CEBU SEA CHARTERERS, INC.</b>							
12	118	TUG	CEBU	1972	30.6	8.8	194.83

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	ト数
13	308	TUG	CEBU	1978	31.18	7.8	143
14	8	TUG	CEBU	1979	27.27	8.6	194.93
15	208	TUG	CEBU	1996	25.55	8.6	198
16	108	TUG	CEBU	1998	28.55	8.2	199.45
17	198	CARGO	CEBU	2009	78	17	880
18	8	CARGO	CEBU	2009	64.9	17	518
19	8	CARGO	CEBU	2009	64.9	17	518
20	88	CARGO	CEBU	2009	0	0	988
21	88	CARGO	CEBU	2009	89.3	21	988
22	918	CARGO	CEBU	2009	0	0	968
23	918	CARGO	CEBU	2009	76.2	16.8	968
24	198	RO-RO CARGO	CEBU	2009	78	17	880
25	28	CARGO	CEBU	2012	64.45	16.2	518
26	308	CARGO	CEBU	2012	80.58	18.5	738
27	708	CARGO	CEBU	2012	87.87	18.5	738
28	738	CARGO	CEBU	2012	76.2	16.8	760
29	808	CARGO	CEBU	2012	88.9	21	878
30	908	CARGO	CEBU	2012	88.9	21	878
31	128	CARGO	CEBU	2013	66.28	18	528
32	188	CARGO	CEBU	2013	72.88	16.8	518
33	208	CARGO	CEBU	2013	66.28	18	586
34	288	CARGO	CEBU	2013	68.7	16.2	508
35	378	CARGO	CEBU	2013	76.2	16.8	528
36	98	CARGO	CEBU	2013	72.88	16.8	518
<b>MATSYA SHIPPING</b>							
37	WINDSTAR	CARGO	CEBU	1969	56.15	9.8	390
38	JAGUAR	CARGO	CEBU	1974	0	0	249.55
39	LANCER	CARGO	ZAMBOANGA	1975	62.25	11	498.02
40	FORTUNER	CARGO	CEBU	1976	0	0	1474.32
41	CHRYSLER	GENERAL CARGO	CEBU	1979	68	12	689.88
42	GRAND PACIFIC - III	CARGO	CAGAYAN DE	1980	67.37	11.5	496.27
43	MIKE - 1	GENERAL CARGO	CEBU	1980	63.93	11	478
44	SUBURBAN	CARGO	CEBU	1981	0	0	676.94
45	SUBURBAN	GENERAL CARGO	CEBU	1981	65.32	11.5	676.94
46	HUMMER H3	CARGO	CEBU	1982	78	14.5	1297
47	38	TUG	CEBU	1982	32.44	8.5	309
48	HUMMER H1	CARGO	CEBU	1984	78	14.5	1454.32
49	FREESTAR	CARGO	CEBU	1985	74.5	11.2	740.76
50	CHRYSLER	CARGO	CEBU	1993	70.5	12	999.38
51	B & E CINCO	GENERAL CARGO	CEBU	1993	70.5	12	999.38
52	CORVETTE	CARGO	CEBU	1994	75	11.2	499
<b>POLSA SHIPPING LINES, INC.</b>							
53	BULK CARRIER - II	CARGO	CEBU	1953	60.9	10.52	490.25
54	03	TUG	CEBU	1977	27.5	8	196
55	HUMMER H2	CARGO	CEBU	1985	78.21	14.5	1454.32
56	HUMMER H2	GENERAL CARGO	CEBU	1985	78.21	14.5	1454.32
57	BULK CARRIER VIII	CARGO	CEBU	1992	74.79	11.2	986.84
58	BULK CARRIER VIII	CARGO	CEBU	1992	74.79	11.2	986.84
59	BULK CARRIER - 1	CARGO	CEBU	1994	43.37	10.98	246.1
60	BULK CARRIER - III	CARGO	CEBU	1994	43	7.6	248.05
<b>SEEN SAM SHIPPING, INC.</b>							
61	CARNIVAL	CARGO	CEBU	1976	60.5	10	659.38
62	CARNIVAL	GENERAL CARGO	CEBU	1978	60.5	10	659.38

No.	船舶名	船種	登録港	建造年	長さ	幅	トン数
63	CRESSIDA	CARGO	CEBU	1980	0	0	984.44
64	50	D / TOWING	GENERAL	1980	36	9	226
65	PATHFINDER	CARGO	CEBU	1982	0	0	974
66	RANGE ROVER	CARGO	CEBU	1982	0	0	956.37
67	60	D / TOWING	GENERAL	1985	27	8.8	170
68	18	TUG	CEBU	1985	28.44	8.6	166
69	SPORTAGE	CARGO	CEBU	1986	0	0	984.61
70	FRONTIER	CARGO	CEBU	1987	0	0	930.53
71	SPORTIVO	CARGO	CEBU	1988	0	0	663.97
72	5	D / TOWING	GENERAL	1988	25.89	7.3	106
73	70	D / TOWING	GENERAL	1988	29.5	9.2	198
74	IWAMI	TUG	CEBU	1988	32.83	9.5	198
75	TOKACHI NO. 8	TUG	CEBU	1988	38	8.4	167
76	28	TUG	CEBU	1989	31	8.5	166
77	20	TUG	CEBU	1991	29.5	8	147
78	ESCALADE	CARGO	CEBU	1992	81.19	12	992.58
79	TUG 88	TUG	CEBU	1995	29	9.2	238
80	98	D / TOWING	GENERAL	1997	29.97	9.2	196
81	30	TUG	CEBU	1997	27.98	8.6	194
82	TUG 80	TUG	CEBU	1998	28.96	9.5	281
83	90	D / TOWING	GENERAL	2003	33.5	8.4	164
84	18	CARGO	CEBU	2014	67.35	16.2	508
85	358	CARGO	CEBU	2014	68.28	18	528
86	388	CARGO	CEBU	2014	68.28	18	528
87	38	CARGO	CEBU	2015	66.27	18	528
88	628	CARGO	CEBU	2015	66.27	18	528
89	688	CARGO	CEBU	2015	66.27	18	528
90	718	CARGO	CEBU	2015	66.27	18	528
91	78	CARGO	CEBU	2015	66.27	18	528
92	788	CARGO	CEBU	2015	66.27	18	528
93	868	CARGO	CEBU	2015	66.27	18	528
94	988	CARGO	CEBU	2015	66.27	18	528
95	SSL BARGE 08	CARGO	CEBU	2015	73.85	20	520
96	SSL BARGE 18	CARGO	CEBU	2015	73.85	20	520
97	1028	B / CARGO	GENERAL	2017	75.92	16.8	588
98	1038	B / CARGO	GENERAL	2017	75.92	16.8	588
99	668	B / CARGO	GENERAL	2017	78.2	18	718
100	888	B / CARGO	GENERAL	2017	78.2	18	718

別添2 MARINA認可造船所リスト

No.	COMPANY	LOCATION	Category	GRAVING DOCK	BUILDING YARD	FLOATING DOCK	SYNCHROLIFT	SLIPWAY / LAUNCHWAY
<b>REGISTERED SHIPBUILDING AND SHIP REPAIR ENTITY WITH FACILITIES, MANPOWER &amp; CAPITALIZATION IN CENTRAL OFFICE</b> (as of SEPTEMBER 2019)								
01	HERMA SHIPYARD INC.	Herma Industrial Complex Mariveles, Bataan	A	15,000 GT	19,840 m <sup>2</sup>	1,600 GT	-	120 x 20 m
02	KEPPEL SUBIC SHIPYARD, INC.	Special Economic Zone, Cabangaan Pt.	A	550,000 DWT	170,000 m <sup>2</sup> (Shipyard Area)	-	Gantry Crane (1,500 tons)	300 x 65 m
03	SUBIC DRYDOCK CORPORATION	Bldg. 17, Gridley cor. Schley Roads	A	-	29,143 m <sup>2</sup>	18,000 DWT 4,000 DWT	-	-
04	DANSYCO MARINE WORKS & SHIPBUILDING CORP.	1204 M. Naval St., Navotas City	B	-	1,800 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
05	ELFA SHIPYARD CORPORATION	904 M. Naval St., Navotas City	B	-	-	-	-	3,000 DWT 2,500 DWT
06	FRABELLE SHIPYARD CORPORATION	1051 North Bay Blvd., Navotas City	B	-	-	2,000 DWT 701 DWT 91 x 22 x 4.5 m	-	High Blocks & Rollers Used
07	JOSEFA SLIPWAYS, INC.	1326 M. Naval St., San Roque Navotas City	B	-	500 m <sup>2</sup>	-	-	1,400 GRT 700 GRT
08	R & L T SHIPYARD & REALTY DEVELOPMENT CORPORATION	51 E. Rodriguez St., Tanza Navotas City	B	-	16,000 m <sup>2</sup>	-	-	3,000 DWT 2,000 DWT
09	SEAFRONT SHIPYARD AND PORT TERMINAL SERVICES CORPORATION	Brgy. Lucanin, Mariveles, Bataan	B	-	400 m <sup>2</sup>	-	-	7,500 DWT 5,000 DWT 3,500 DWT
10	SL MARIVELES DRYDOCKING & SHIPYARD CORPORATION	Baseco Cmpd., Mariveles, Bataan	B	-	1,600 m <sup>2</sup>	-	-	4,500 DWT
11	A.H. ARAULLO & SONS RIZAL SLIPWAYS, INC.	940 Int. M. Naval St., San Jose Navotas City	C	-	3,000 m <sup>2</sup>	-	-	3 Slipway 300 GRT ea.
12	AMAYA DOCKYARD AND MARINE SERVICES INC.	6070 Brgy. Amaya VI, Tanza, Cavite	C	-	-	-	-	Airbag / Marine Bag 18 x 1.8 / 10 x 1.8 m (13/10)

No.	COMPANY	LOCATION	Category	GRAVING DOCK	BUILDING YARD	FLOATING DOCK	SYNCHROLIFT	SLIPWAY / LAUNCHWAY
13	ASIAN SLIPWAY CORPORATION	Cor. Capt. Cruz & E. Rodriguez St.	C	-	7,430 m <sup>2</sup>	-	-	5,000 GRT 500 GRT 80 GRT
14	BASECO SHIPYARD CORPORATION	Tanza, Kaliwa, Navotas City Yard 2, Engineering Island Baseco Cmpd., Port Area, Manila	C	-	-	-	-	70 x 30 2,500 GT
15	CHESTEEL MARINE & INDUSTRIAL CORPORATION	7 E. Rodriguez St., Tanza, Navotas City	C	-	803 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
16	CLEAR WATER INTERNATIONAL SHIPYARD CORPORATION	NFC Bulungan St., Frabelle Dragon Cmpd., Navotas City	C	-	5,540 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
17	COASTAL MARINE & SHIPBUILDING CORPORATION	10 Buenaventura St., Brgy. Tangos	C	-	400 m <sup>2</sup>	-	-	1,500 DWT
18	COASTAL MARINE & SHIPBUILDING CORPORATION	1366 M. Naval St., San Roque Navotas City	C	-	1,246 m <sup>2</sup> (Shipyard Area)	-	-	High Blocks & Rollers Used
19	DAVID SHIPYARD	81 Buenaventura St., Brgy. Tangos	C	-	100 m <sup>2</sup>	-	-	1,200 DWT 1,500 DWT
20	F. B. SANTOS ENTERPRISES	1268 M. Naval St., Daanghari Navotas City	C	-	5,000 m <sup>2</sup> (Shipyard Area)	-	-	150 DWT 200 DWT 200 DWT
21	HADIA MARINE, INC.	Bulungan Ave., Ext. Navotas Fishport Complex, Navotas City	C	-	-	2,700 tons	-	-
22	HOPE MARINE & INDUSTRIAL SOLUTIONS, INC.	Lot 4-A, Brgy. Capipisa Tanza, Cavite	C	-	1,300 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
23	HULLTECH SHIPBUILDING MARINE CORPORATION	Pier 4, Navotas Fish Port Complex	C	-	-	-	-	High Blocks & Rollers Used
24	J.A.L. INTER ISLAND CORPORATION	Navotas Fishport Complex North Bay Boulevard, Navotas	C	-	1,800 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
25	JOCFER MARINE CORPORATION	Lot 2D, Vitas Foreshoe Reclamation Project, R-10, Brgy.	C	-	3,300 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
26	MARITIME SHIPYARD AND SLIPWAYS CORPORATION	Rd. 12, NDC Cmpd., Pureza St. Sta. Mesa, Manila	C	-	2,200 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
27	MAUBAN SHIPYARD	Pensacola St., Mauban, Quezon	C	-	2,100 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
28	MC FISH INTERNATIONAL CORPORATION	1304 M. Naval St., San Roque Navotas City	C	-	200 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
29	MIDBOUND VITAS CENTRAL TERMINAL SHIPYARD	15-17 E. Naval St., Brgy. San Jose	C	-	700 m <sup>2</sup> (Yard Area)	-	-	High Blocks & Steel Rollers Used

No.	COMPANY	LOCATION	Category	GRAVING DOCK	BUILDING YARD	FLOATING DOCK	SYNCHROLIFT	SLIPWAY / LAUNCHWAY
30	NAUTILUS SHIPYARD & REPAIR INC.	1050 M. St., Navotas City	C	-	1,200 m <sup>2</sup>	-	Travel Lift (300 tons)	W1 = 1,500 DWT W2 = 1,500 DWT
31	NAUTILUS SHIPYARD & REPAIR INC. (2)	Pier 3, Lot 1, Bulungan Ave. Fishery Port, Navotas City	C	-	Open Yard	-	Travel Lift (600 tons)	High Blocks
32	NAVOTAS SHIPYARD CORPORATION	1328 Int. M. Naval St., San Roque Navotas City	C	-	1,310 m <sup>2</sup>	-	-	300 GRT 200 GRT
33	NORTHBAY CONSTRUCTION SERVICES CORP.	313 Gov. Pascual St., San Jose Navotas City	C	-	-	-	-	1,000 GRT 501 GRT
34	PIER 44 SHIPYARD AND DEVELOPMENT CORP.	1052 M. Naval St., San Jose Navotas City	C	-	1,160 m <sup>2</sup>	-	-	1,500 DWT 1,500 DWT
35	RBL SHIPYARD CORPORATION	925 M. Naval St., Navotas City	C	-	2,500 m <sup>2</sup>	-	-	1,000 GRT 500 GRT
36	ROUVIA ROAD YACHT DESIGN AND CONSTRUCTION CORPORATION	Freeport Area of Bataan Mariveles, Bataan	C	-	4,200 m <sup>2</sup> LA - 6,736 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
37	RAJ & T MARINE SERVICES INC.	1088 M. Naval St., San Jose Navotas City	C	-	200 m <sup>2</sup>	-	2 - 7 x 1.5 m	Airbags 15 - 18 x 1.5 m 5 - 10 x 1.5 m
38	R. W. R. MARINE WORKS	1096 M. Naval St., San Jose Navotas City	C	-	160 m <sup>2</sup> LA - 3,000 m <sup>2</sup>	-	-	High Blocks & Rollers Used
39	SAFEHULL MARINE TECHNOLOGIES INC.	Luna St., (Bldg. 39) Global Industrial Park, Subic Bay Freeport Zone	C	-	2,000 m <sup>2</sup>	-	-	Steel Rollers 26 tons cap. (Swivel Top Non-Tilt)
40	SAS SHIPYARD INC.	112 M. Naval St., San Jose Navotas City	C	-	14,600 m <sup>2</sup> (Yard Area) 330 m <sup>2</sup>	-	-	Air Bags for Docking & Undocking High Blocks & Rollers Used
41	SEA RUDDER CORPORATION	Lachenal Cmpd., Daang Hari Navotas City	C	-	-	-	-	-
42	SEAVAR MARINE ENGINEERING AND SHIPBUILDING SERVICES	PFDA NFPC Pier 5, Drydock St. NBBN, Navotas City	C	-	-	-	-	-
43	VDR MARINE & INDUSTRIAL SERVICES, CORP.	7 Ferry 3. M. Naval St., Navotas City	C	-	900 m <sup>2</sup>	-	-	Airbags (6 x 1 m) Airbags
44	VISTAMARINE SHIPBUILDING & SHIPREPAIR INC.	Brgy. Timalan, Batsahan, Naic, Cavite	C	-	31,700 m <sup>2</sup> Assembly Area	-	-	Airbags
45	WESTERN SHIPYARD SERVICES, INC.	1036 M. Naval St., Brgy. San Jose Navotas City	C	-	2,400 m <sup>2</sup>	-	-	1,200 DWT 1,400 DWT 1,500 DWT

No.	COMPANY	LOCATION	Category	GRAVING DOCK	BUILDING YARD	FLOATING DOCK	SYNCHROLIFT	SLIPWAY / LAUNCHWAY
<b>REGISTERED SHIPBUILDING AND SHIP REPAIR ENTITY WITH FACILITIES, MANPOWER &amp; CAPITALIZATION IN REGIONAL OFFICE</b> (as of SEPTEMBER 2019)								
<b>LA UNION - MRO I &amp; II</b>								
01	LA UNION SHIPYARD AND MARINE SERVICES CORP.	Tubod, Sto. Tomas, La Union	B	-	-	-	-	-
02	JOSEFA SLIPWAYS, INC.	Sual Fishing Port Complex Sual, Pangasinan	C	-	-	-	-	-
<b>BATANGAS - MRO IV</b>								
01	KEPPEL BATANGAS SHIPYARD	San Miguel, Bauan, Batangas	A	40,000 DWT	28,500 DWT (Rep. Birth)	-	6,000 DWT (Liftdock)	-
02	HANSON SHIPBUILDING & MARINE SERVICES	399 A. Market Ave., Market View Lucena City	C	-	-	-	-	High Blocks & Rollers Used
03	RIO TUBA NICKLE MINING CORP.	Rio Tuba, Palawan	C	-	-	-	-	100 DWT
04	SAN PEDRO SHIPYARD CORPORATION	Dalanica Fishport, Lucena City	C	-	-	-	-	-
<b>LEGASPI - MRO V</b>								
01	MAYON DOCKS INC.	Brgy. Salvation, Tabaco City	C	-	-	-	-	2,000 GT 1,000 GT
<b>ILO-ILO - MRO VI</b>								
01	F.F. CRUZ & CO., INC.	Brgy. Loboc, Lapuz Lapaz, Ilo-Ilo	A	-	No Capacity Info	500 GRT	-	-
02	JAGNEE SHIPBUILDING & SHIP REPAIR	Brgy. Tiofas, San Joaquin, Ilo-Ilo City	C	-	No Capacity Info	-	-	150 GRT
03	DAYAO MOLASSES HAULERS, INC.	IFPC, Tanza St., Ilo-Ilo City	C	-	-	-	-	500 GRT
04	LACSON MARINE & CONSULTANCY SERVICES	IFPC, Tanza St., Ilo-Ilo City	C	-	-	-	-	High Blocks & Rollers Used
05	METALLICA MARINE CONSULTANCY FABRICATION & WASHINGTON	Rizal St., Pobacion, New Washington	C	-	-	-	-	High Blocks & Rollers Used
06	OCEAN MARINA DRYDOCKING SERVICES	Brgy. Rizal, Jordan, Guimaras	C	-	-	-	-	300 GRT
07	TRI-STAR MEGALINK SHIPYARD	Cadiz, Bacolod	C	-	-	-	-	High Blocks & Rollers Used
08	VAMDA FISHING CORP.	Purok Kabutakan, Brgy. Daga Cadiz City	C	-	-	-	-	-
<b>CEBU - MRO VII</b>								

No.	COMPANY	LOCATION	Category	GRAVING DOCK	BUILDING YARD	FLOATING DOCK	SYNCHROLIFT	SLIPWAY / LAUNCHWAY
01	TSUNEISHI HEAVY INDUSTRIES (CEBU) INC.	West Cebu Industrial Park-SEZ, Buanoy	A	200,000 DWT	-	8,500 tons	-	100,000 tons
02	COLORADO SHIPYARD CORP.	Sitio Tawagan, Tayud, Consolacion Cebu	B	-	3,800 m <sup>2</sup>	-	-	S1 - 800 tons S2 - 1,200 tons S3 - 3,000 tons
03	MACTAN SHIPYARD CORP.	Dad Cleland Ave., Brgy. Looc Lapu-Lapu City	B	35,000 DWT	1,500 m <sup>2</sup>	-	-	S1 - 900 tons S2 - 1,500 tons
04	SANTIAGO SHIPYARD AND SHIPBUILDING CORP.	Tayud, Consolacion, Cebu	B	-	3,000 tons	-	-	1,200 tons 800 tons
05	AUSTAL PHILIPPINES PTY. LTD.	Lots 1731 & 1732 West Cebu Industrial Park, Brgy. Arpili	C	-	3,000 m <sup>2</sup>	-	-	-
06	BRADDEX PHILS. SHIPBUILDING & MARINE SERVICES, INC.	Labogon, Mandaue City, Cebu	C	-	500 m <sup>2</sup>	-	-	Launchway(1,000 tons)
07	ELITE FABRICATION YARD	Brgy. Punta, San Remegio, Cebu	C	-	600 m <sup>2</sup>	-	-	Launchway(1,000 tons)
08	FORTUNE SHIPWORK, INC.	Bangkerohan, Tayud, Consolacion, Cebu	C	-	567 m <sup>2</sup>	-	-	1,200 tons, 2,500 tons
09	GOLDEN DRAGON FASTCRAFT BUILDER, INC.	Latasan, Labogon, Mandaue City, Cebu	C	-	820 m <sup>2</sup>	-	-	Launchway
10	H R SLIPWAYS MARINE ENGINEERING WORKS	Tinangon, Basak, Guihulingan Negros Oriental	C	-	500 m <sup>2</sup>	-	-	Launchway(1,000 tons)
11	JUNIDA DRYDOCK SITE, BOATBUILDING AND FISHPORT	Poblacion, Bago City, Cebu	C	-	-	-	-	-
12	L' NOR MARINE SERVICES, INC.	Sitio Baybayon, Brgy. Calero Liloan, Cebu	C	-	80 m <sup>2</sup>	-	-	100 tons
13	MAAYO SHIPBUILDING & SHIPREPAIRS, INC.	Tampi, San Jose, Negros Oriental	C	-	500 m <sup>2</sup>	-	-	1,000 tons
14	MICHAEL SLIPWAYS, INC.	Brgy. Catalina, Liloan, Cebu	C	-	800 m <sup>2</sup>	-	-	600 tons
15	NAGASAKA SHIPYARD, INC.	Brgy. Punta, San Remegio, Cebu	C	-	3,000 m <sup>2</sup>	-	-	3,000 DWT
16	PHILIPPINE TRIGON SHIP REPAIR	Sangal San Fernando, Cebu	C	-	3,000 m <sup>2</sup>	-	-	3S - 5,000 DWT
17	REPUBLIC DRYDOCK CORP.	Sitio Pagutlan, Dungo-an Danao City, Cebu	C	-	1,200 m <sup>2</sup>	-	-	1,200 tons, 500 tons

No.	COMPANY	LOCATION	Category	GRAVING DOCK	BUILDING YARD	FLOATING DOCK	SYNCHROLIFT	SLIPWAY / LAUNCHWAY
18	STARMARINE SERVICES, INC.	Tayud, Consolacion, Cebu	C	-	6,000 m <sup>2</sup>	-	-	2,000 tons
19	UNI-ORIENT PEARL VENTURES INC.	Sitio Tawagan, Tayud Consolacion, Cebu	C	-	-	-	-	-
20	VM CABAHUG SHIPYARD, INC.	V.B. Cabahug St., Opa Mandaue City, Cebu	C	-	1,000 m <sup>2</sup>	-	-	1,000 tons
<b>TACLOBAN - MRO VIII</b>								
01	MEGASHIP BUILDERS, INC.	Balugo, Albuera, Leyte	B	-	3,120 m <sup>2</sup>	-	-	3,000 DWT
<b>ZAMBOANGA - MRO IX</b>								
01	DMC SHIPBUILDERS, INC.	Recodo, Zamboanga City	B	-	-	-	-	500 GT
02	VAREDERO DE RECODO, INC.	Recodo, Zamboanga City	C	-	-	-	-	25 - 600 GT ea. 300 GT 200 GT 100 GT
03	VAREDERO DE CAWIT, INC.	Cawit, Zamboanga City	C	-	-	-	-	1,000 GT 200 GT 100 GT
04	ZAMASCO GENERAL SERVICE ENT.	Sinunuc, Zamboanga City	C	-	-	-	-	200 GT
05	AMR SHIPYARD	Cawit, Zamboanga City	C	-	-	-	-	200 GT
06	UNIVERSAL SHIPYARD, INC.	Cawit, Zamboanga City	C	-	-	-	-	200 GT
07	MFC SHIPYARD	Cawit, Zamboanga City	C	-	-	-	-	Air Bags Used
08	NFC VARADERO	Sangali, Zamboanga City	C	-	-	-	-	200 GT
09	MEGA PLY SHIP REPAIRER	Lumbayao, Zamboanga City	C	-	-	-	-	High Blocks & Rollers Used
10	RJA VARADERO	Bolong, Zamboanga City	C	-	-	-	-	150 GT
11	JMD SHIPYARD CORP.	Sangali, Zamboanga City	C	-	-	-	-	400 GT
12	ZC DAAP SHIPYARD INC.	Sangali, Zamboanga City	C	-	-	-	-	300 GT

No.	COMPANY	LOCATION	Category	GRAVING DOCK	BUILDING YARD	FLOATING DOCK	SYNCHROLIFT	SLIPWAY / LAUNCHWAY
<b>CAGAYAN DE ORO - MRO X</b>								
01	PHILIPPINE IRON CONSTRUCTION & MARINE	Kimaya, Jasaan, Misamis Oriental	A	-	No Capacity	-	7,500 GT	No Info
<b>DAVAO - MRO XI</b>								
01	CW COLE, INC.	Samco Bldg., F. Bangay St., Davao City	C	-	-	-	-	750 DWT
02	MINTRADE SHIPPING CORP.	888 Mintrade Drive, R. Castillo St.	C	500 GRT (Semi)	-	-	-	No Info
<b>GENERAL SANTOS - MRO XII</b>								
01	GENSAN SHIPYARD & MACHINE WORKS	Siguil, Maasin, Sarangani Prov.	B	-	500 m <sup>2</sup>	1,500 tons 2,500 tons	-	50 DWT 5,000 DWT 5,000 DWT 100 DWT
02	RD FISHING INDUSTRIES, INC.	1st Rd., Calumpang, GenSan	C	-	1,000 m <sup>2</sup>	-	-	150 DWT
03	SAN ANDRES FISHING INDS., INC.	Banasil, Tambler, GenSan	C	-	100 m <sup>2</sup>	-	-	200 DWT
04	AMADEO FISHING CORPORATION	Marang St., Calumpang, GenSan	C	-	200 m <sup>2</sup>	-	-	250 DWT
05	DAMALERIO FISHING ENTERPRISES	Talisay, Tambler, GenSan	C	-	7,250 m <sup>2</sup>	-	-	100DWT 200 DWT
06	MOMMY GINA TUNA RESOURCES INC.	Banasil, Tambler, GenSan	C	-	900 m <sup>2</sup>	-	-	350 DWT
07	KINGFOLD MARINE WORKS INDUSTRIES	Cabu, Tambler, GenSan	C	-	1,000 m <sup>2</sup>	-	-	1,000 DWT
08	DREWZEL SHIPYARD & SERVICES INC.	Talisay, Tambler, GenSan	C	-	2,100 m <sup>2</sup>	-	-	400 DWT
09	SAN LORENZO RUIZ FISHING INDUSTRIES	Calumpang, GenSan	C	-	150 m <sup>2</sup>	-	-	300 DWT
10	GLADERY FISHING INCORPORATED	Banasil, Tambler, GenSan	C	-	700 m <sup>2</sup>	-	-	500 DWT
11	SAFI SHIPYARD, INC.	Cabu, Tambler, GenSan	C	-	250 m <sup>2</sup>	-	-	500 DWT
12	RLGFI CORPORATION	Banasil, Tambler, GenSan	C	-	800 m <sup>2</sup>	-	-	300 DWT
13	RRCS MARINE & INDUSTRIAL DEVELOPMENT CORP.	-	C	-	100 m <sup>2</sup>	-	-	300 DWT

No.	COMPANY	LOCATION	Category	GRAVING DOCK	BUILDING YARD	FLOATING DOCK	SYNCHROLIFT	SLIPWAY / LAUNCHWAY
14	EBS DRYDOCKING FACILITY	Tambler, GenSan	C	-	1,050 m <sup>2</sup>	-	-	120 DWT, 40 DWT
15	CUBNAME MARINE SERVICES	C/O RFlI Cmpd., Bawing, GenSan	C	-	-	-	-	250 DWT
16	RFlI SHIPYARD SERVICES	Bawing, GenSan	C	-	1,800 m <sup>2</sup>	-	-	500 DWT
17	SIGNAL MARINE SHIPYARD CORP.	Cabu, Tambler, GenSan	C	-	500 m <sup>2</sup>	-	-	2,900 DWT
18	RUGELA FISHING IND. INC.	Talisay, Tambler, GenSan	C	-	500 m <sup>2</sup>	-	-	2,900 DWT
19	SOUTHERN PHILIPPINES SHIPBUILDER & SHIP REPAIR	-	C	-	-	-	-	-
<b>SURIGAO - MRO XIII</b>								
No.	COMPANY	LOCATION		GRAVING DOCK	BUILDING YARD	FLOATING DOCK	SYNCHROLIFT	SLIPWAY / LAUNCHWAY
01	GOLDEN SEACRAFT MARINE CORP.	Purok 4, Brgy. Bading, Butuan City	B	-	6,200 m <sup>2</sup>	-	-	Air Bag Used
02	TRIPARCO DEVELOPMENT CORP.	Brgy. Agusan, Pequeño, Butuan City	C	-	-	-	-	-
03	SR METALS INC.	Tubay, Agusan del Norte	C	-	-	-	-	-
04	ADMIRAL SHIPYARD	Purok 5, Banban, Taganaan Surigao del Norte	C	-	-	-	-	-

この報告書は、ポートルース事業の交付金による日本財団の助成金を受けて作成しました。

フィリピンにおける海事産業の現状及び  
今後の動向についての調査

2020年（令和2年）3月発行

発行 一般社団法人 日本中小型造船工業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎ノ門三井ビルディング  
TEL 03-3502-2063 FAX 03-3503-1479

一般財団法人 日本船舶技術研究協会

〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-9 ラウンドクロス赤坂  
TEL 03-5575-6426 FAX 03-5114-8941

本書の無断転載、複写、複製を禁じます。